

国際仏教協会と『海外仏教事情』

吉永進一¹・大澤広嗣²

要旨：国際仏教協会は、戦前、友松円諦が中心となって組織された、日本仏教と海外仏教者あるいは仏教学者の国際交流の拠点となった団体である。日本の対外政策とも関係する組織であるが、いまだ十分な研究はなされていない。本論文は、同協会成立と、その機関誌である『海外仏教事情』発行の経緯をまとめたもので、参考のために記事総目録を附録とした。

キーワード：Young East、友松円諦、吉水十果、渡辺海旭、立花俊道、木村日記

1. はじめに

国際仏教協会とは、日本の仏教学研究者が中心となって1933(昭和8)年に設立した学術団体である。当初の活動の目的は、文字通りに「国際」性を帯びた活動をした。国外的には海外の研究者との交流、国内的には海外の研究動向の紹介であった。

ところが日中戦争を経て太平洋戦争が勃発するころから、日本が南進政策を進めていく中で、協会は東南アジアを中心とするアジアの仏教に関する調査研究、現地の仏教者と連絡網の構築といった国策に協力する活動に転換した。

国際仏教協会の体制は、前期と後期に分かれる。それは『海外仏教事情』の誌面の編集方針を見れば明らかである。区分すれば、前期は第1巻第1号(1934年8月)から第6巻第2号(1939年11月)、後期は第7巻第1号(1940年11月)から第10巻4号(1944年10月)である。

2. 発足の経緯

国際仏教協会発足の経緯は、すでに別稿⁽¹⁾に詳述してあるが、背景には、1926(大正15)年の天台宗、真言宗豊山派、浄土宗の協力による大正大学の開学、1928年の日本仏教学協会(現日本仏教学会)の設立、『大正新修大藏経』の発行など、超宗派的な仏教学者の協力が盛んになっていたことがある。高楠順次郎(1866~1945)と並んで、それらの活動の中心となっていた人物が渡辺海旭(1872~1933)であった。彼が亡くなった年の末に、海外仏教者との交流で中心的な役割を果たした渡辺を偲んで、国際仏教協会の発足に至る。

1 鶴鶴工業高等専門学校 人文科学部門 准教授

2 文化庁文化部宗務課 専門職

会長に井上哲次郎(1856~1944)を始め、顧問に高楠や鈴木大拙(1870~1966)などの有名な学者を擁していたが、活動の中心を担ったのは木村日記(1882~1965)、立花俊道(1877~1955)、友松円諦(1895~1973)、長井真琴(1881~1970)、ジャック・ブリンクリー(Jack Ronald Brinkley, 1887-1964)、宮本正尊(1893~1983)、山本快竜(1893~1948)の常任理事たちであった。そのうち代表常任理事は、初代友松円諦、第2代立花俊道、第3代木村日記であった。

これらの中でもブリンクリーは、異色な存在である。英字新聞 *Japan Weekly Mail* の主筆として活躍したフランシス・ブリンクリー(Francis Brinkley, 1841-1912)の子供であり、イギリス留学中に神智学を経由して仏教に関心を抱いたという経歴の人物で、戦前と戦後を通じて日本とイギリスの仏教の国際交流に尽力した人物である。

彼以外の常任理事の大半は仏教もしくはインド学者の大学教員であった。木村は立正大学教員でインド留学の経験があるサンスクリット学者、立花は駒澤大学教員、パーリ語学者でイギリス留学の経験があった。長井もパーリ語学者で高楠の弟子、後に東京帝大教授になる。宮本正尊はオックスフォード大の留学経験がある仏教学者でやはり後に東京帝大教授になる。山本快竜は智山専門学校(後に大正大学と合併)の教授でインド哲学研究者であった。高楠や渡辺海旭を先駆とする、欧州の東洋学を修めた仏教学者、東洋学者たちであったことは、後期の『海外仏教事情』における南方指向にも関係してくる。

実質的に、初期における協会運営の中心となったのは代表常任理事の友松円諦である。浄土宗の寺の養子であった友松は、大正大学に進学して渡辺海旭

に学び、さらに慶應義塾大学に学んでいる。実業家の藤井栄三郎（1865～1949）というパトロンの援助で1927年から1931年までヨーロッパに留学し、シルヴァン・レヴィ（Sylvain Lévi, 1863-1935）などに師事し、帰国後は慶大で教鞭をとっていた。この国際仏教協会の設立資金も、藤井からにっている。

友松で注目すべきは、彼が明治の仏教青年運動に対して敬意を抱いていた点である。彼は、明治仏教史編纂所（1933年発足）を設立して、明治仏教研究と顕彰の道を開き、渡辺海旭に学問の上で師事していただけてだけでなく、渡辺の属していた新仏教徒同志会（仏教清徒同志会として1899年結成）を尊敬し、その中心的会員であった高島米峰（1875～1949）に私淑していた。友松自身も、国際仏教協会設立の翌年、NHKラジオから「法句経」講義を行い、大反響を巻き起こし、その後、真理運動という超宗派的仏教復興運動を始め、当時の仏教ブームの一翼を担ったが、彼はこれを新仏教の理念を受け継いだとみていた⁽²⁾。

友松が明治仏教を意識していたことは、さらに、『海外仏教事情』という雑誌名にも示されている。この名称は、西本願寺の普通教校を中心とする反省会運動と連動していた海外宣教会が1888年に創刊した雑誌名でもあった（～1893年）。また、海外宣教会は*Bijou of Asia*という英字仏教紙を発行していた（1888～1889年）。これらの雑誌に関わった高楠順次郎は、1925年に反省会運動の盟友であった桜井義肇（1868～1926）と共に、*Bijou of Asia*の後継誌ともいべき英字仏教誌*Young East*を創刊している。この雑誌は、桜井の死去後、資金繰りに困り、1930年に休刊しているが、1934年秋以降その発行、復刊を引き受けたのが国際仏教協会であった。なお*Young East*も『海外仏教事情』と同じく1944年に休刊となっている⁽³⁾。

1925年から30年にかけての第1期*Young East*誌は、海外の仏教者や研究者の動向を紹介しているが、国際仏教協会が発行元となった第2期*Young East*誌からは、日本仏教の紹介を専らとするようになる。この背景には、1934年9月に設立された財団法人国際文化振興会（現在の独立行政法人国際交流基金）から資金提供を受けていたこともある。同会は、理事に姉崎正治（1873～1949）と高楠順次郎らも加わっており、仏教文化の海外への紹介が重視されていたからである。

3. 誌面

『海外仏教事情』誌の誌面を支えたのは、有名な仏教学者の協力もあったが、それ以外では、常連寄稿者の存在があった。たとえば、同誌の発行人で国際仏教協会の主事でもあった吉水十果（1909～？）

がいる。吉水は、大正大学で宗教学を修め、友松から主事に抜擢された。執筆記事の数も多く、後期には彼が指導的な位置にいたようにも思われる。また、翻訳記事を残している金田恵光は大正大学英文科の卒業で、同協会の事務員を勤めていた。中島関爾（1907～1980、旧姓福地）は、「中島莞爾」の筆名を用いて、翻訳記事を多く残している。後年に英文学者として駒澤大学の教授となるが、弟子にシャーマニズム研究で有名な佐々木宏幹がいる。さらに、上坂倉次、浅野研真（1898～1939）、大森禅戒（1871～1947）、本荘可宗（1891～1987）、「バロン・サツマ」こと薩摩治郎八（1901～1976）、藤井草宣（1896～1971）、宇野円空（1885～1949）など、多士済々な寄稿者が誌面を彩っていた。

前期『海外仏教事情』の誌面は、その性格は第1期*Young East*誌に近く、『海潮音』、*Maha-Bodhi*、*Buddhist in England*などの同時代の仏教雑誌の紹介や、海外での仏教大会の様態など、近代仏教の世界的な動きを記録した重要な資料となっている。

前期に発行した第6巻第2号（1939年11月）から1年にわたる発行休止を経て、第7巻第1号（1940年11月）が発行された。中断した理由は明らかではない。

その後は、第10巻第4号（1944年10月）に再び休刊するまで発行が継続されたが、この間の誌面の特徴としては、東南アジアを中心とした特集号が組まれたのである。後期の特集号を列記すれば、次のようになる。

- ① 第7巻第1号「特輯 ビルマの仏教」、1940年11月
- ② 第7巻第2号「特輯 タイ国の仏教」、1941年2月
- ③ 第7巻第3号「特輯 仏印の仏教」、1941年8月
- ④ 第7巻第4号「特輯 蘭印の仏教」、1941年10月
- ⑤ 第7巻第5号「華僑の信仰号」、1941年12月
- ⑥ 第8巻第1号「特輯 西蔵の仏教」、1942年2月
- ⑦ 第8巻第2号「特輯 セイロンの仏教」、1942年8月
- ⑧ 第9巻第4号「安南特輯号」、1943年8月
- ⑨ 第10巻第1号「タイ国仏教特輯」、1944年2月
- ⑩ 第10巻第3号「釈興然追悼号」、1944年6月
- ⑪ 第10巻第4号「ビルマ特集号」、1944年10月

その特徴を整理すると、西洋の植民地下にあった地域の仏教事情の紹介に努めていることが明らかで

ある。すなわちイギリス領(①⑦⑩)、フランス領(③⑧)、オランダ領(④)であった。いずれも日本軍が、占領ないしは武力進駐した地域である。

また開戦後は日本と同盟関係を結んだタイ(②、⑨)、東南アジアの各地に居住して現地経済に大きな影響力を持った華人(⑤)の仏教事情、明治期に日本に上座仏教を移植したことにより戦時中は日本と南方の仏教徒とを繋ぐ象徴とされた積興然(⑩)もある。

かつては「ラマ教」と呼称された、チベット(⑥)の仏教は、戦時中に重視された。満洲から蒙古、チベットにかけて伝播するが、その地帯はソヴィエト連邦と対峙する「防共壁」として、さらにチベットはイギリス領であったインドに隣接するため、戦略上の重要な意味を持ったのである。

戦争の激化により、『海外仏教事情』は1944年に発刊が休止した。

4. おわりに

『海外仏教事情』は、国立国会図書館や主な仏教系大学の図書館にて所蔵されているが、今のところ全ての巻号を収集した機関は確認できない。

この総目次を読み込むだけでも、近代仏教のグローバルな展開が見えてくるかと思われるが、これをもとに掘り下げていけば、さらに興味深い仏教史の様相が見えてくるとと思われる。

註

(1) 大澤広嗣「国際仏教協会と大正大学をめぐって—昭和前期の仏教思潮—」(『仏教文化学会紀要』第14号、2005年11月)334~355頁。

なお国際仏教協会については、佐藤哲朗『大アジア思想活劇—仏教が結んだ、もうひとつの近代史—』(サンガ、2008年)等でも言及されている。

(2) 友松円諦と新仏教運動の関係については、坂本慎一『戦前のラジオ放送と松下幸之助—宗教系ラジオ知識人と日本の実業思想を繋ぐもの—』(PHP研究所、2011年)第3章による。

(3) 英字仏教誌 *Young East* は、Young East Association が発行した。国際仏教協会からの発行継承を経て、戦後は再び Young East Association の名義で、1952年から1985年まで発行(1966~1974年休刊)した。なお戦前期の *Young East* は、1978年に Pitaka から復刻された。

(2013.12.9 受付)

KOKUSAI BUKKYŌ KYŌKAI AND KAIGAI BUKKYŌ JIJŌ

YOSHINAGA Shin'ichi and OSAWA Koji

ABSTRACT : Kokusai Bukkyō Kyōkai was an international society organized by Tomomatsu Entai before World War II, where the Buddhists or the scholars of Buddhism of Japan and foreign countries communicated with each other. Though this organization was important in that its activities were related to the foreign policies of Japan, few researches concerning this body have been done. In this paper we survey the history of its foundation and the publications of its journal *Kaigai Bukkyo Jijo*. As an appendix, the catalogue of all the articles of this journal is given after this article.

Key Words : *Young East*, TOMOMATSU Entai, YOSHIMIZU Jikka, WATANABE Kaikyoku, TACHIBANA Shundo, KIMURA Nichiki

附録『海外仏教事情』記事総目録

(作成 大澤広嗣)

第1巻第1号、1934(昭和9)年8月1日発行

- 国際仏教協会々員募集〈表紙裏〉
 友松円諦 発刊の辞〈1〉
 井上哲次郎 国際仏教協会設立に際して〈3〉
 高楠順次郎 『海外仏教事情』に就いて〈4〉
 ド・ラ・モランヂェール 外人の仏教的関心〈5〉
 大森禅戒 仏教の国際的普及〈6〉
 本荘可宗 仏教の国際進出の意義〈7〉
 橋本芳契 海外仏教の恩人「南條先生」〈10〉
 ルキ・ド・ラ・ヴァレ・プサン (堀一郎訳) 涅槃に関する最近のノート(レイモンド・リノツシエ記念論文集より)〈13〉
 D. C. パーカー (橋本芳契訳) ワーグナーと仏陀(上)〈19〉
 エドワード・グリーンリイ 仏陀と戦争〈22〉
 本荘可宗 現代哲学に対する仏教の示唆〈23〉
 本荘可宗 弁証神学と浄土門〈25〉
 無署名記事 新刊紹介〈27〉
 デビスの『仏教概論』/タドナタ・シナの『印度心理学』/デシムク『ヴェダ文学に於ける宗教』/ダスグプタ『印度観念論』/『アールヤの道』第5巻第5号/『海潮音』第15巻第6号/荻原雲来・土田勝弥両氏校訂改訂『梵文法華経』の出版/プウサン博士の『仏教倫理学』岡本貫瑩氏に依つて邦訳さる/ブデイズム・イン・イングランド第9巻第1号/『菩薩の教義』ハル・ダイアル/世界仏教学年報第4・5巻刊行さる/欧文仏教雑誌『ヤング・イースト』第4巻第11号発行
 藤井草宣 盧山の仏教講座〈32〉
 無署名記事 ニュース〈33〉
 巴里の弘法大師 1千百年遠忌/ドイツの大学で東洋史を講ずる北山淳友氏の近況/華嚴経の研究をする露人ホイヤー氏/国際連盟文化委員として姉崎博士ジュネーブへ赴任/友松円諦氏著仏文仏教概論パリで刊行/在巴里松尾氏よりの通信/モスコウの阿部女よりの便り/日米教授学生会議に友松氏講演/「法華経原典」研究中の出口常順氏本月帰朝/多倫の橋本光宝氏より/仏教による国際的握手/1933—1934年度パリ各大学の開講科目と担任教授/西本願寺の北部アメリカ伝道/トラウツ博士憂婆塞戒を受く/ウエサク祭/ブツデイズトロツヂの近況/印度ダツト氏よりの便り/ピチルスキー教授の最近の研究/ソヴィエトに生くる日本仏教/ローリック氏の講演/国際仏教協会で汎太平洋仏教代表を招待/満洲国博物館へ羅振玉氏的美挙/ダンマパーラ師の跡をふむデハプリオ氏/印度の大学便り/ルンビニ園の復興とネパール王/国際仏教協会で仏教の純学術雑誌を創刊/国際仏教協会第1回役員総会

開催

- 無署名記事 国際仏教協会設立趣旨〈39〉
 吉水十果 編輯後記〈41〉

第1巻第2号、1934(昭和9)年9月17日発行

- 口絵 カンヂーの仏祭〈表紙裏〉
 藤井草宣 現下の支那仏教界の情勢〈1〉
 S. W. ヴィジヤヤティレーク 仏教を泰西に伝へたパウ・ダルケ博士〈13〉
 無署名記事 海外仏教の恩人笠原研寿師〈16〉
 無署名記事 海外新刊紹介〈19〉
 世界宗教の現勢(C. S. ブレーデン氏の著書より)/實在性の本拠(西洋思想への挑戦)エドモンド・ホームズ著/三井光弥氏『現代独逸文学に現はれたる仏陀』/亜細亜の光 サーダー・イクバル・アリ・シヤー著/現代に於ける仏教 A. W. ワツト著/瑜伽哲学と西洋心理学との比較研究 ゼラルダイン・コースター著/大乘仏教の原理及び実行 ドウワイト・ゴツダート著
 無署名記事 海外雑誌紹介〈24〉
 マハ・ボディ/亜細亜協会雑誌/ピース/ブデイズム・イン・イングランド第6巻第2号/ブデイズト/海潮音第15巻第7号
 無署名記事 ニュース〈27〉
 独逸の学者セイロンの修道院へ入る/米国に於ける仏教/北山氏の報ずる独逸仏教界/僧侶になるクリフトン氏/田島隆純氏の近況/仏教徒となるには(英国ブデイズト・ロッヂ通信)/巴里の「仏教友の会」/布哇の国際仏教協会/各地のヴェサク祭/セイロン・デュレイ・ニユース・ヴェサク特輯号発行/エミール・セナール教授の著書及論文目録出版さる/ジオルジュ・ボノー氏の文学博士となる/第2回汎太平洋仏教青年会開催さる/日華仏教研究会生る/中華仏教の社会的活動/ダンマパラ記念事業/セイロンの教育問題/仏教青年会の宗教試験/平等通昭氏帰る/アーリヤ・ダルマのメッセージ/仏教美術展覧会/マドラスに仏教青年会設立/ムケルジ氏消息/印度阿羅漢、初の空旅/ビルマで仏塔の発見/アルマ・センダ女史の訃/ナラス教授の訃
 吉水十果 編輯後記〈36〉
- 第1巻第3号「印度仏教」、1934(昭和9)年10月17日発行
- 口絵 上座仏教の故地カムボヂヤにて〈表紙裏〉
 口絵 [海外宣教会]〈1〉
 タゴール (加々美南嶺訳) 絵ことば〈2〉
 北山淳友 独逸に於ける仏教研究の現状〈4〉
 平等通昭 印度の仏教研究〈8〉
 上坂倉次 海外仏教の恩人「藤島了稔師」〈14〉
 カウサリアヤーナ (福地関爾訳) 歐洲の仏教学者展望〈18〉

デーワ・ブリア・ワ・リシンハ (好村春輝訳) 印度の仏教運動に就いて〈22〉

無署名記事 新刊紹介〈25〉

神秘郷印度の研究 ポールブランドン著／阿闍世王シランカ・スタビル著／朝鮮語『大聖弘法』金孝敬氏訳／印度に於ける古代仏教諸大学 (Buddha Bidyapit) / 『布哇仏教年報』

無署名記事 海外雑誌紹介〈29〉

ブツダブラバ誌第2巻第3号／ブッディズム・イン・イングランド第9巻第3号／マハボディ誌第42巻第9号／海潮音第15巻第8号(第176号)／世灯月刊8月号第2期／ザ・カルバ(東洋秘誌)第29巻7-8月号／インド文化誌第1巻第1号

無署名記事 ニュース〈31〉

欧洲の仏教会議／仏教の家フローナウ／ブッディスト・ロッジ会／新しい仏教大学／バンガロアに仏教寺院／二人の著名なるルハツサ訪問者／新しい仏教運動／南米の国立美術館へ古代仏像／班禅、太虚大師の爲め灌頂す／九華山の幽冥鐘／ゴンダーソン氏太虚大師に寄贈図書／上海清涼寺祈雨の紛争／大林寺の仏殿地鎮祭／広東・嶺東仏学院現住僧調査／五台山の僧侶地主と農民／浙江省雨乞の禁屠3日／浙江温嶺県に仏教会成立す／尹山鎮で古銅観音像発見／禅の研究家エデイス・マッケンジー女史／国際仏教大学連盟講演会／カルカッタの「安息会」／ベサツク祭余報／ナクラ誌休刊／*Equitist* 誌休刊／ハル・ダイヤル博士／ブッディズム・イン・イングランドのマーチ氏より／伊太利のツッチ氏より／松尾邦之助氏より(友松氏へ)／オーベルラン氏より

無署名記事 協会ニュース(自9月1日至10月8日)〈37〉

藤井栄三郎氏御来訪／第2学期研究生会開始／鈴木大拙ワ・リシンハ両氏と会合／シヤロツク氏御来訪／9月常任理事会開催／後藤末雄博士 仏語仏典購読会開始／平等通昭氏に印度仏教事情を聞く／姉崎博士御帰朝／ヤング・イースト編輯会議／友松円諦氏の英訳仏教概論／地方・各国連絡員／海外受信／11月号内容予告

無署名記事 編輯後記〈40〉

第1巻第4号「仏蘭西仏教号」、1934(昭和9)年11月17日発行

口絵 日仏々教学徒の交驩 (i)

スムーラ 仏教と西洋〈1〉

松尾邦之助 仏蘭西仏教界の昨今〈4〉

アナトール・フランス (菅谷英男訳) 仏教の精神〈6〉

上坂倉次 海外仏教の恩人「島地黙雷師」〈10〉

浅野研真 仏教研究者の巴里遊学案内〈14〉

薩摩治郎八(釈墨禅日本語訳) 柬埔寨王立仏教研究所の事業に就て〈17〉

B. M. バルア (菅谷英男訳) 仏音二人説〈21〉

無署名記事 新刊紹介〈23〉

初期仏教の地理 B. C. ロウ博士著／北東印度史 R. G. ベーサク教授著／仏教聖典—禅宗の聖典(別名)ドワイト・ゴダート氏著／日本の仏教事情 アームストロング氏著／エス語訳妙法蓮華経普門品 野原休一氏訳

無署名記事 海外雑誌紹介〈26〉

マハボディ誌第42巻第10号／ラ・ブッディズモ (*La Buddhismo*) / 海潮音第15巻第9号／浄土宗月刊第1冊／印度文化第1巻第2号

無署名記事 ニュース〈28〉

倫敦で開催の第1回欧洲仏教大会／巴里大学都市に仏教研究所の設立計画／巴里の日仏同志会で雑誌刊行／朝鮮の巨僧世界一周に出る／西藏仏教の現状／西藏仏典の中華訳／*Mulagandha Kuti Vihara* 記念祭近づく／国際仏教大学協会／満洲の寺院参拝の大谷〔光暢〕氏／B. D. ヴアリシンハ氏の情報／ブツディスト誌予告／エヂイス・マツケンジー女史の情報(緒方宗博氏所報)／薩摩治郎八氏より(友松氏へ)／田島隆純氏より(友松氏へ)／寄塵法師より

無署名記事 協会ニュース(自10月9日至11月8日)〈35〉

／研究会／ヤング・イースト編輯会議／カルカッタ大学出版図書入所／研究講演会／ノルブ博士御来所／東北凶作地義捐金募集相談／常任理事会開催／海外受信／海外雑誌受理／国際仏教協会役員

吉水十果 編輯後記〈38〉

第1巻第5号、1934(昭和9)年12月17日発行

口絵 西藏三大寺〈1〉

井上哲次郎 欧米仏教学者の表彰に就いて〈2〉

福井天章 ヒリッピンの仏教事情—特に南天寺を中心に—〈4〉

W. T. デ・シルワ (新堀源司訳) 僧伽—教団の改造は果たして是か—〈7〉

ロバート・S. クリフトン(福地関爾訳) アメリカに於ける仏教〈13〉

吉水十果 米国仏教学者ヘンリー・クラーク・ウォレン〈14〉

ニハルランジャン・レイ(菅谷英男訳) ビルマに於ける大乘並びに密教の諸本〈17〉

無署名記事 新刊紹介〈21〉

仏教の形而上学 北山淳友師著／仏跡巡礼 ルネ・グルツセ氏著／大醒師著口業集 武昌海潮音社発行／鈴木大拙博士著 支那仏教印象記 森江書店発行

無署名記事 海外雑誌紹介〈24〉

ブッディズム・イン・イングランド誌第9巻第4号／フランス・ジャボン10月創刊号／海潮音第15巻第10号／人海灯第23期目録10月、第24期目録11月／ジュルナル・アデアティック第224号

無署名記事 ニュース〈26〉

欧洲仏教大会(後報)／姉崎博士を祝して／倫敦ブツディスト・ロッヂ創立十年祭挙行／英国基督教会で仏教聖典の講義／愛蘭土博物館に阿羅漢の肖像画／榊原師の独文「真宗」の英訳 ブツディズム・イン・イングランド出づ／フランス・ジャポン誌創刊／仏蘭西に於ける仏教辞典／セイロンの仏教女子大学で婦人の教授を求む／太虚大師の動静／四川の仁王護国の法会／ブツシユ氏の処女出版／海外雑誌受理

無署名記事 協会ニュース(自11月9日至12月8日)〈30〉
研究会／常任理事会／研究講演会／新春を期し国際仏教人先亡追悼会挙行の計画／巴里の田島隆純氏より／ハイチャナンミトラ氏より／白のV. ガブリロフ博士より(友松氏へ)／海外受信／図書部
吉水十果 編輯後記〈32〉

第2巻第1号、1935(昭和10)年1月17日発行

口絵 アンコール遺跡／満洲に於ける仏塔(ハルピン)〈1〉
無署名記事 乙亥の新春を迎へて〈2〉
竜山章真 世界梵語学界の現状〈4〉
無署名記事 暹羅に於ける印度人〈9〉
田島隆純 巴里仏教便り〈10〉
ルイス・W. ブツシユ(新坂源司訳) 現代人の要求に適する仏教〈16〉

無署名記事 新刊紹介〈19〉

弥陀礼讃—仏教教説— 多田鼎師原著 アーサー・ロイド氏英訳／西方西蔵学術旅行記 ギッセツペ・ツチ氏著／『禅仏教論集』第3巻 鈴木大拙博士著

無署名記事 海外雑誌紹介〈22〉

ザ・ブッダ・プラバー第2巻第4号／ザ・ジャーナル・オブ・レリジョン第14巻第4号／フランス・ジャポン第2号／海潮音第15巻第11号／世灯第3期／人海灯第2巻第2期／仏学半月刊第4巻23-24号／海外雑誌受理

無署名記事 ニュース〈24〉

孟買便り ネール博士委員会／国際仏教大学／ブッダ・プラバー誌／アーナンダ精舎／ブッダ・ジャヤンティ祭／全印度仏教教授会議／巴利テキストと翻訳協会設立の計画／ブッダ・ソサイティー／セシル・ド・トラフオード氏キヤナリー諸島に予備校を開く／藤井草宜氏の『仏教の日支提携』／G. アウステル氏セイロン入りを中止／救へ！！ 危機に直面せるブツディズム・イン・イングランド誌を／訴への反響／ヨーロッパ婦人医師 東洋の仏教国に職を求む／支那仏教雑誌紹介／巴里大学—文学科講義紹介—

無署名記事 協会ニュース(自12月8日至1月9日)〈29〉
研究会／ブロートン氏の講演／ニュージーランドのW. E. バーナード氏来訪／ロバート・S. クリフトン師を訪問／F. デ・ゲリー氏来訪／巴里スムーラ氏より／ウヅ氏を悼む／寄贈図書／海外受信

吉水十果 編輯後記〈32〉

第2巻第2号 休刊

第2巻第3号、1935(昭和10)年3月1日発行

口絵 渡辺海旭先生逝いて三とせの春を迎ふ〈1〉

オベルラン 国際仏教協会に就いて〈2〉

徳永芽生 ロイマン教授の御書翰〈4〉

神田恵雲 支那仏教雑報〈10〉

田島隆純 巴里仏教便り(承前)〈12〉

D. チャッテルジ(菅谷英男訳) 仏教因明に於ける量の問題〈14〉

B. C. ロウ(福地関爾訳) 阿育は比丘になつたか?〈19〉

無署名記事 新刊紹介〈20〉

アジア三文明の研究 ケネス・ソウンダース著／実用仏学辞典普及本 上海膠州路仏学書局／釈氏十三経 上海仏学書局印行／ジャン・ピチルスキー教授『仏教』／西蔵仏教 L. A. ワデル著／海外雑誌受理

無署名記事 海外雑誌紹介〈23〉

フランス・ジャポン第3号／マハ・ボディ誌第11-12号／英国仏教誌第9巻第9号／人海灯第2巻第34期／仏学半月刊第5巻第1-2号／中日密教第1巻第1-2号／海潮音第15巻第12号

無署名記事 ニュース〈25〉

ムルガンダ・クチ精舎3周年祭／サハニイ氏引退／アーナンダ比丘カルカッタ訪問／シャーストリ氏アジア旅行を語る／ワ`リシンハ氏帰印の後報／ワ`リシンハ氏の日本印象談／パリ「仏教の友」の会／巴里大学の日本に関する講座／『中国仏教年鑑』の編纂／漢陽に仏教正信会の設立／ブツディスト・ロッヂ十周年祭記念講演会のタベ／ブツディスト・ロッヂの新刊書／ブツディスト・ロッヂの会合—隔週月曜午後7・15—7・30—

無署名記事 協会ニュース(自1月10日至2月9日)〈29〉

研究会／常任理事会／故ウヅ氏の追悼会／故コーツ氏の追悼会／ソ国の仏教研究者エム・マロゾフ女史来訪／加奈陀の荒川要博氏より／巴里のマルタン・デュボア氏より(友松氏へ)／厦門の神田恵雲氏より／満洲の八尋洲光君より

吉水十果 編輯後記〈32〉

第2巻第4号、1935(昭和10)年4月1日発行

オベルラン(吉水十果訳) 日本仏教と西洋〈1〉

青柳舜隆 米国西岸の仏教熱〈4〉

無署名記事 アナガリカ・ダルマパーラ逝いて三週の春を迎ふ〈8〉

ディー・チャッテルジ(菅谷英男訳) 仏教因明に於ける量の問題(承前)〈16〉

無署名記事 新刊紹介〈20〉

仏教概論 C. H. S. ウォード氏著／印度語及び印度文学の起原と発達 パトナ大学出版部発行／1934年・日

本 モーリス・ムシン氏著
 無署名記事 海外雑誌紹介〈23〉
 海潮音第16巻第1号／ザ・ブッダ・プラバ第3巻第1号／ザ・ブディスト第5巻第9号／マハ・ボディ第42巻(1月号)／フランス・ジャポン第4号／浄土宗月刊第3冊／中日密教第2巻第2号／世灯月刊第4期／人海灯第6巻第2号／仏学半月刊第5巻第4号
 無署名記事 ニュース〈25〉
 アフガニスタンに仏教を探ぐる／仏舎利贈呈式延期さる／印度語の律蔵刊行／仏蹟巡拝者のためサルナトに客舎を建つ／ブータン王スリ・ダルマラジカ精舎を訪ふ／大乘仏教講演会／ブッディスト誌の新しい後援者／印度 YMBA 癩患者収容の精舎を建つ／大印協会雑誌刊行／セイロンのマラリア其他の流行病猖獗を極む！／仏教学者と布教家の世界連盟生まる／伊太利に於ける日本詩文粹／班禅法王と田中清純師／宋蔵遺珍の出版／錫蘭の二学僧日本仏教研究／仏陀伽耶今や仏教徒の手に！！
 無署名記事 協会ニュース(自2月10日至3月9日)〈29〉
 研究会／ブッシュ氏弘前高校へ赴任／ジョン・アイルズ氏来訪／ヤング・イースト第5巻第1号発行／ボウロウヂェ氏より／青柳舜隆氏より／八尋氏より／海外雑誌受理
 吉水十果 編輯後記〈31〉

第2巻第5号、1935(昭和10)年5月1日
 口絵 レーニングラードに於ける仏寺〈1〉
 口絵 熱河離宮内の仏寺／武烈河東岸の円亭／札什倫布之仿後蔵仏寺〈2〉
 無署名記事 印度に最初の日本山妙法寺立つ〈3〉
 無署名記事 ベルグラードの寺院〈4〉
 大田覚眠 ソウエート露西亜の梵本刊行事業〈5〉
 八尋洲光 満洲仏教の現状〈7〉
 八尋洲光 自ら死を預言し座禅のまゝ往生せる丹円老師(第2報)〈9〉
 上坂倉次 布哇開教の父 今村恵猛〈10〉
 G. P. モララスケヤ(福地関爾訳) 比丘尼に就いて(承前)〈13〉
 無署名記事 新刊紹介〈16〉
 日本仏教 故サー・チャールズ・エリオット著／静賢全集 中華民国人海灯社発行
 無署名記事 海外雑誌紹介〈18〉
 フランス・ジャポン6巻(3月)／ザ・ブッディスト第5巻第10号(2月号)／英国仏教第9巻第6号(3・4月)／マハ・ボディ第43巻第3号／仏教半月刊第5巻第5-6号／人海灯第2巻第9期／人海灯第2巻第8期／海潮音第16巻第2号
 無署名記事 ニュース〈20〉
 ブータン王精舎訪問／英文『仏書解題』／ロンドンに於

ける白人の仏式火葬／アーナンダ・カウサリヤーヤナ師の動静／S. R. サンキリティヤーヤナ師の講演会／西藏の風習／ロンドンの信仰座談会／蔣委員長洛陽の香山寺を修繕す／海塩の福業寺南洋方面に建立基金を募る／揚州の福慶寺経文を構ず／自資を以て放生供養す
 無署名記事 協会ニュース(自3月20日至4月19日)〈23〉
 研究方面／ヤング・イーストの進展／満洲国に活躍の八尋洲光氏／伊太利ツッチ氏より図書の寄贈／海外雑誌受理
 吉水十果 編輯後記〈24〉

第2巻第6号、1935(昭和10)年6月1日発行

口絵 第1回欧羅巴仏教大会(1934年11月22日23日)〈1〉
 無署名記事 ボルブドールの仏蹟〈2〉
 無署名記事 巴里より伯林へー日本研究 重松俊章氏の講演一〈3〉
 無署名記事 ナーラダ師の熱弁〈4〉
 A. ゴツシュ コーサム出土の碑文断片〈5〉
 無署名記事 燉煌千仏洞の修理竣工〈6〉
 アーナンダ比丘(榊原順次訳) 英国に於ける仏教運動に就いて〈7〉
 無署名記事 北平で古経の陳列〈9〉
 上坂倉次 ヤング・イーストと中央公論前史一歐文反省雑誌について一〈10〉
 ウォルフガング・シューマッヘル(菅谷英男訳) 仏教哲学〈14〉
 無署名記事 新刊紹介〈18〉
 姉崎正治博士の英文日本宗教史／西方西藏の寺院とその象徴主義(第1部) G. ツチ氏著
 無署名記事 海外雑誌紹介〈20〉
 ブリティッシュ・ブディスト誌終刊号／マハー・ボーディ第43巻第4号／ザ・ブディスト誌第5巻第11・12号／印度文化誌第1巻第4号／宗教会報(市俄古大学)第15巻第2号／海潮音第16巻第4号／中日密教第2巻第4号／仏学半月刊第5巻第9号
 無署名記事 ニュース〈23〉
 和蘭に大菩提会支部／英文『大法輪』出づ／青年寮連合会の仏教会議提唱／伯林「仏教の家」／シルヴァン・レヴキ教授 IBUA の学士院会員に推薦さる／ライデンのJ. フォーゲル教授／シルヴァ夫人ウイーンに逝く／三蔵のベンガリ語出版事業に篤志家の援助／ビルマに於ける宗教慣例法案の行方／国際仏教大学協会の事業／仏教国シヤム／印度仏教徒の真面目な不平／インドに於ける仏教徒の数／サルナートの仏教講習所／大菩提誌の仏誕記念号／来朝のセイロンの仏教学者／錫蘭のナーラダ師来朝
 無署名記事 協会ニュース(自4月20日至5月19日)〈27〉
 常任理事会／ラフラ、ナアラダ両師歓迎懇談会／ジョ

ン・アイルズ氏の談／ブッシュ氏の上京／ヤング・イースト夏季号／海外雑誌受理
吉水十果 編輯後記〈28〉

第2巻第7号、1935（昭和10）年7月1日発行

口絵 デイニョースに於けるアレキサンダ・ダビィ・ネール夫人の仏教の家／ハンブルグを訪問したアーナンダ比丘〈1〉

戴天仇 黎明の支那に於ける宗教〈2〉

八尋洲光 満洲名物娘々祭のこと〈6〉

R. L. ソニ（菅谷英男訳） 仏教は無神論であるか〈9〉

ジャン・ピジルスキー（吉水十果訳） 仏陀の般涅槃〈13〉

無署名記事 新刊紹介〈19〉

瑜伽と禅定（心意発達綱要）ブディスト・ロッジ編纂／英訳正見綱要 M. L. サヤダウ氏原著 U. ニヤーナ氏英訳／吠陀文学に於ける宗教の起源と発達 デシュマック氏著

無署名記事 海外雑誌紹介〈21〉

ザ・ブディスト誌第6巻第1号／ブッダ・プラバー誌第3巻第2号／『英国仏教』誌第10号第1号／マハ・ボディ第43巻第5号／海潮音第16号第5号／人海灯第2巻第11・12期／仏学半月刊第5巻第10、12号

無署名記事 ニュース〈23〉

独人僧道空法師の動静／英文『ヤングアジア』羅馬で出版さる／ローリツク条約案米政府受諾／燉煌の発掘で著名なペリオ博士来朝／印度教徒大会／IBUAの会報第2号近刊／コロンボにダルマパーラ記念館／中国仏教大会／新興仏青同盟と米国基督教社会事業協会の握手／雲崗の石仏修理／ビルマから観光団来朝／加州博覧会に日本デー計画／中印学会の創立／サンフランシスコに仏骨奉安の大殿堂／ダルマパーラ三回忌法要／英国大菩提会の新会則成る／ハンブルグ仏教団より仏書の寄贈を求む／新京宗教界の動き／北京に仏学研究奨励舎院設立

無署名記事 協会ニュース（自4月20日至5月19日）〈28〉

ラーフラ、ナーラダ両師歓迎懇談の盛況／ヤング・イースト夏季号／友松円諦氏の仏訳『仏教概論』いよいよ出づ

無署名記事 編輯後記〈30〉

第2巻第8号、1935（昭和10）年8月1日発行

口絵 印度総督の初転法輪寺訪問記念撮影（1934）〈1〉

無署名記事 アンコールの仏蹟〈2〉

戴天仇 黎明の支那に於ける宗教〈5〉

J. アツカン（福地関爾訳） ギメー博物館50年祭を迎へて〈6〉

アナガリカ・B. ゴーヴィンダ 西藏の人と自然〈8〉

無署名記事（吉水十果訳） 印度支那に於ける仏教復興（ハノイ特報）〈12〉

ジャン・ピジルスキー（吉水十果訳） 仏陀の般涅槃（承前）〈14〉

無署名記事 海外雑誌紹介〈24〉

英国仏教誌第10号第2号／仏教徒第6巻第2号／ザ・ボード・ルネッサンス誌第1巻第1号／仏学半月刊第5巻第13号／人海灯第2巻第13期／海潮音月刊第16号第6号／浄土宗月刊第8期

無署名記事 ニュース〈26〉

東阿の風雲愈々急！！ 全米宗教団体蹶起しエチオピア救援運動に着手／巴里通信 哀はれ！！「現代の鉄仮面」 深山に幽閉8ケ年 エチオピア廢帝の死去／英文『仏教主婦の友』世界平和は婦人の手で！！／日米学生会議に仏教大学々生参加／南米秘露へ開教の中尾証道師／三宝の映画化 サウンド版24巻 セイロントーキー会社で／印度へ行く訓導 同胞教育に一身を献げて／ブタペスト名物の大学生のベーカーリー／笑へぬ喜劇 乞食の学校 当局の弾圧下に解散／ビツセ教授の日本古代仏教研究 高楠教授の推薦で近刊／五河地方に仏教未だ亡びず／巴里通信（松尾）／満洲僧の日本留学／中国仏教会第7回代表大会／邵元冲師 班禅喇嘛訪問／高麗の高僧『白雲和尚語録』／日華仏教会学会発会式挙行／東京国際クラブの創立／上海仏教浄業社で巴里語講習／西山堡居士林の1周年記念

無署名記事 協会ニュース（自6月20日至7月19日）〈34〉

常任理事会／ハンガリーの親日母娘宗教美術研究の旅に／ジャワ仏教の伝道家と意見交換／友松常任理事アメリカへ国際放送

吉水十果 編輯後記〈34〉

第2巻第9号、1935（昭和10）9月1日発行

口絵 ガンガ、チャラン、ラル氏は、印度マハ、サアバのカウンポール会議に出席した仏教徒を招待した。其の時の記念写真〈1〉

口絵 インド、ガンジス河の辺に座禅を組んで石仏に祈りを捧げる仏行者〈1〉

口絵 熱河郊外の喇嘛寺の相對峙して立つ仏塔の彫刻は見事なものである〈1〉

レオン・ドイエ（吉水十果訳） 日本仏教に就いて—チャールス・エリオット氏の著作を中心に—〈2〉

金田恵光 碧眼仏教徒—ミリヤム・サラナブ女史—〈9〉

ブラボード・チャンドラ・バグチ（菅谷英男訳） 亜細亜の文運に対する仏教の寄与〈11〉

S. ハルダー（福地関爾訳） 生命の統合〈12〉

菅谷英男 印度に於ける神格観と仏性観 1〈15〉

無署名記事 ニュース〈21〉

ロンドンのウエサク祭詳報／学芸愛好本部／科学—心霊研究会／W. E. スーシイル教授死す／朝鮮寺院の浄化運動／アメリカに東洋書店 白鷺堂禅仏教研究の—婦人の手で／仏教夏季学校／西洋人で最初に黄衣をつ

けた人は？／錫蘭仏教の外護者C. ロバート氏逝く／ドワイト・ゴダード氏の動静／尋ね人／厦門市仏教会の講演会／太虚法師 嘉興で講演／鎮江の仏教々育展望／日本視察記を執筆中の大醒法師

無署名記事 海外雑誌紹介〈25〉

海潮音月刊第16号第7号／中日密教月刊第2巻第7号／仏学半月刊第5巻第14号／人海灯第2巻第14・15期合刊／新蒙古月刊第3巻第6期／*The Maha-Bodhi* (Vol.43, No.7, July)／*The Bodha Renaissance* (Vol.1, No.2, June)／*The Journal of Religion* (Vol.XV, No.3, July)／*Indian Culture* (Vol.11, No.1, July)

無署名記事 協会ニュース〈27〉

吉水十果 編輯後記〈27〉

第2巻第10号、1935(昭和10)年10月1日

口絵 サールナートに於ける阿育王石柱の柱頭〈1〉

バーヴァトシュ・マジヤムダル(菅谷英男訳) 阿育王石柱柱頭の象徴〈2〉

W. E. バーナード(菅谷英男訳) 仏教と賀川豊彦氏〈5〉

吉水十果 浄土宗の布哇布教を語る一服部泰俊師との談一〈7〉

吉水十果 宗教的な印度の結婚式〈11〉

菅谷英男 印度に於ける神格観と仏性観 2〈13〉

無署名記事 ニュース〈16〉

ライデン大学のラーデル教授愚管抄の翻訳出版／英国ブデリスト・ロツヂの聖典研究会／モラバールに仏教伝道師派遣印度教徒の協力／特志家の寄附で牛津大学に東洋宗教学講座新設／国際仏教大学設立協会語学講座を開始／欧洲の二仏教研究者比丘となる／仏文『禅定』出づ 巴里仏教の友の会から／ゴルドン・ダグラス氏のこと／四川崇慶県普浄仏学社成立／金華浙江の監獄の仏教化／日本密教の華訳版 密宗要訣鈔10巻 菩提研究社で出版

無署名記事 海外雑誌紹介〈19〉

海潮音月刊第16号第8号／浄土宗月刊第10期要目／仏学半月刊第5巻第16・17号／人海灯第2巻第17・18期合刊／*Indian Culture*／*Buddhism in England*／*The Buddhist*／*The Maha-Bodhi*

無署名記事 協会ニュース〈21〉

吉水十果 編輯後記〈21〉

第2巻第11号、1935(昭和10)年11月1日

口絵 樊城城壁の災民避難所／廟宇建築の崩壊／漢陽幹堤の氾濫〈1〉

八尋洲光 朝鮮仏教の管見〈2〉

無署名記事 仏陀伽麻耶大塔と其の変遷〈4〉

吉水十果 西本願寺の北米開教を語る一東福義雄師との談一〈5〉

無署名記事 娼婦の入団〈8〉

マーガレット・カズンス夫人(菅谷英男訳) 現今印度の婦人の地位〈9〉

カリダース・ネーグ(福地関爾訳) フランス学士院と東洋学〈12〉

菅谷英男 印度に於ける神格観と仏性観 3〈15〉

無署名記事 ニュース〈18〉

漢藏教理院の図書設備／仏教徒の水害救済事業／芝峯法師香港で講義／松尾・スモウラ両氏の近況／印、錫海外留学生連盟大会／英国仏教研究家の感想／仏教雑誌と国際連盟との連携／印度語の律蔵の刊行／ムーンチ博士の謬見／靈鷲寺の4周年祭／国際仏教大学設立協会の語学講座／アメリカに東西仏教伝道会／ニュージーランド便り／布哇 北島昌雄氏より／仏誕記念会後報／青年仏教学僧の自殺

無署名記事 海外雑誌紹介〈23〉

海潮音月刊第16号第9号／仏学半月刊第5巻第18-19号／人海灯半月刊第2巻第19-20期／*The Maha-Bodhi* (Vol.43, No.9)／*The Buddhist* (Vol.VI, No.4)／*The Buddha-Prabha* (Vol.3, No.3)／*France-Japon* (No.11)／*The Kalpaka*／*India and the World* (July)

吉水十果 編輯後記〈24〉

第3巻第1号、1936(昭和11)年1月1日発行

国際仏教協会 年賀之辞〈1〉

不左果 世界の歳末年始風景〈2〉

八尋洲光 満洲ニュース 奉天省内宗教分野一覧〈5〉

井上哲次郎、高楠順次郎、姉崎正治 シルワ^ン・レヴィ博士を悼む〈9〉

シルワ^ン・レヴィ氏の略歴〈15〉

菅谷英男 印度仏教没落の因由〈17〉

吉水十果 古代印度医神の研究(上)〈20〉

無署名記事 ニュース〈27〉

巴利聖典協会の近況／中国の識者は語る／日独文化紹介の恩人グンデルト博士帰国／ロンドン仏教集会創立11周年祭挙行／カムポデア便り／『英国の仏教』誌から／緬甸普雲洞の奇異の仏像

無署名記事 海外雑誌紹介〈32〉

海潮音月刊第16巻第10号／仏学半月刊第5巻第21号／*Buddhism in England* (Vol.10, No.4)／*The Buddhist* (Vol.VI, No.6)

吉水十果 編輯後記〈33〉

第3巻第2号、1936(昭和11)年2月1日発行

福地関爾 初転法輪寺の壁画成る 野生司画伯晴れの帰朝〈1〉

藤原凌雪(福地関爾訳) 仏教と二世〈4〉

ハインリツヒ・マインハルド(福地関爾訳) パーリ島に於ける古代印度文化〈7〉

八尋洲光 満洲国の肅正と仏教一町野哲秀氏のこと一

〈10〉

吉水十果 古代印度医神の研究(下)〈12〉

無署名記事 ニュース 〈17〉

ビルマのラングーン大学に仏教会館建設／ボン大学の松本徳明師帰朝／ビーティアの考古学的発見／ナチの弾圧続行 ユダヤ人のブローカー禁止／学位疑獄事件教授が学生に代つて受験／「好意ある人々に平和あれ」ローマ法王院宣／仏海灯の創刊／クレアトル女史の密教研究／敦煌の千仏洞／天津の悟りの日／密教書籍の展覧会

吉水十果 編輯後記〈21〉

第3巻第3号、1936(昭和11)年3月1日発行

口絵 Solf 〈1〉

井上哲次郎 ゴルフ博士を悼む 〈2〉

森孝三 ゴルフ博士と後藤伯 〈3〉

無署名記事 印度の方言 〈5〉

江藤激英 南洋に於ける宗教事情 〈6〉

無署名記事 達磨の生地 〈10〉

吉水十果 最近独逸の日本研究に就いて—松本徳明氏との談— 〈11〉

優香里 千崎如幻師をたづねて 〈13〉

ドロシイ・A.L. スティード(福地関治訳) 印度史の理解に重要なインドの物的特色に就いて 〈16〉

中尾文雄 戯論(Prapañca)の本質—特に中論を資料として— 〈22〉

無署名記事 ニュース 〈28〉

米国のローリツク教授中央アジア探検／インド初転法輪寺創立4周年祭後報／遣土文化使節 「西の東洋に」に日本文化を／ヨネ野口教授 大菩薩会の歓迎／長部經典の印度語訳／五河地方の仏教熱／モラバール仏教伝道／国際仏教大学協会の後援者バルア氏死去／上海で藤井草宣師が講演 日華旅行社主催／錫蘭留学団最近に出発／影印宋磧砂藏經 全部出版さる

無署名記事 海外雑誌紹介 〈31〉

海潮音月刊第17巻第1号／仏海灯第3期釈迦文仏像／*Buddhism in England* (Vol.10, No.5)／*The Buddha- Prabha* (Vol.3, No.4)／*The Buddhist* (Vol.VI, No.7)／*Indian Culture* (Vol.11, No.2)／*Miscellanea*

吉水十果 編輯後記 〈33〉

第3巻第4号、1936(昭和11)年4月1日発行

口絵 ペグの大仏 〈1〉

松浦太郎 聖都ラハツサ 〈2〉

J. F. ブラキストン(福地関治訳) カフジヨ・ダロ発見の仏舎利其他 〈5〉

松浦太郎 ブデリスト・ロツヂ—創立11周年記念講演— 〈10〉

ドロシイ・A.L. スティード(福地関治訳) 印度史の理

解に重要なインドの物的特色に就いて 中 〈11〉

中尾文雄 戯論(Prapañca)の本質 下 —特に中論を資料として— 〈14〉

無署名記事 ニュース 〈19〉

ゴダード氏金剛楞伽及道德經を翻訳／大醒法師 日本仏教視察記出版／香港女子仏学院の成立／セイロンの大学に女子聖語学院開設／英京ロンドンに仏教寺院／セイロンのビンガム氏 加奈陀で仏教講演／国際聖交會／チャーリ判事 仏教の必要を説く／カルカッタにMBS 施薬院／子供より狐が高価？／仏教復興の徴 ニュー・デリーに寺院建立／「現代インドの世界文化」／最近帰朝 藤井草宣氏の講演

無署名記事 海外雑誌紹介 〈22〉

海潮音月刊第17巻第2号／人海灯第3巻第3期／*The Buddha- Prabha* (Vol.4, No.1)／*Maha- Bodhi* (Vol.43, No.12)／*The Buddhist* (Vol.VI, No.9)／*France- Japan* (No.14)

吉水十果 編輯後記 〈23〉

第3巻第5号、1936(昭和11)年5月1日発行

無署名記事 フランス高等学院宗教科50周年記念 〈1〉

藤井草宣 福建仏教の新旧両派 〈3〉

無署名記事 失業者救済の『沙翁劇』オヂヤン—但シアメリカのこと— 〈7〉

ブロートン(福地関爾訳) 鮮・満・露印象記 〈8〉

無署名記事 アルメニヤの宗教 〈11〉

H. G. ウエルズ(福地関爾訳) 世界史上の三大偉人 〈12〉

福地関爾 不列顛諸島の民間信仰 〈15〉

無署名記事 ニュース 〈21〉

湘郷県で古版藏經を発見／奉仕雪竇寺の建設／蒋介石氏の寺廟保護／中国仏学徒暹羅に留学／巴里仏教友の会で中華仏徒を歓迎／リス・デエヴィツズ夫人 共同著作者を求む／ハワース氏の仏教運動／最初の英文仏教雑誌？／マハーボデイ誌ウエサク特輯号／回教徒首脳部に回・印融和の機運／哲学 G. グリアスン翁 85回の誕辰を祝ふ

無署名記事 海外雑誌紹介 〈24〉

海潮音月刊第17巻第3号／人海灯第3巻第4号／仏海灯第1巻第5期／仏教月報創刊号／*The Maha- Bodhi* (Vol.44, No.3)／*The Bodha Renaissance* (February, 1936)

吉水十果 編輯後記 〈25〉

第3巻第6号、1936(昭和11)年6月1日発行

無署名記事 吠舎佉祭 〈1〉

中尾証道 ペルー入国の第一報 〈2〉

吉水十果 聖都めぐり メッカ巡礼 〈7〉

オベルラン(吉水十果訳) 日本仏教の現世主義 〈11〉

無署名記事 ヤヴオルスキ教授を迎へて 〈14〉

A. B. キース(福地関爾訳) プローティノスと印度思想

(上) (15)

無署名記事 月の生命 (19)

無署名記事 ニュース (20)

梵語写本の完全な目録／国際的総合文化雑誌／ブデイス
ト誌の編輯者引退／インド文化会議／ガイドヨダヤ
東洋学院長ラトナサラ・ナヤカ師逝去／故ダルマパーラ
翁の甥 セイロン国会に入る／宏明法師世界紅仏字会
を組織す／宋版蔵経錫蘭に贈らる／錫蘭学法団／北平
に仏教図書館成立／台南降誕記念講演

無署名記事 海外雑誌紹介 (24)

海潮音月刊第 17 巻第 4 号 中国仏教建設専号／南瀛仏
教第 14 巻 5 月号／仏海灯第 1 巻第 7 期／仏教月報第 1
巻第 2 号／人海灯第 3 巻第 5 号／*Buddhism in England*
(Vol.10, No.6)／*The Maha- Bodhi* (Vol.44, No.4)

吉水十果 編輯後記 (25)

第 3 巻第 7 号、1936 (昭和 11) 年 7 月 1 日発行

無署名記事 国際盂蘭盆の夕 (1)

菊地智果 夏のヒマラヤ (2)

無署名記事 日米学生英語会招待 (5)

ルウキ・ド・ラ・ワレ・プサン (福地関爾訳) 巴利經
典に於ける我 (アートマン) (6)

無署名記事 怪奇の熱帯植物 (9)

上坂倉次 海外渡航仏家列伝 7 北島道竜 (10)

A. B. キース (福地関爾訳) ブローティノスと印度思想
(下) (14)

無署名記事 ニュース (18)

英文仏教読本のシヤム語訳／ナタールに仏教復興／シ
ンガポールに中華仏教進出／ウイリアムス・キングスラ
ンド氏死去／世界宗教会議／ウエサク後報／全国仏教
徒の中国仏教会改組運動／中国仏教会上海市分会／閩
院学僧自治会成立／南瀛仏教講習会／台南仏教婦人会
発会式／内埔仏教講習会／九華幽冥大鐘 6 月完成／吳
淞に放生園を設置

無署名記事 海外雑誌紹介 (21)

The Maha- Bodhi (Vol.44, No.15, May) ／*Buddhism in*
England (Vol.11, No.1)／*The Buddha- Prabha* (Vol.4, No.2,
April)／海潮音月刊第 17 巻第 5 号／現実第 1 巻第 5 期／
仏海灯第 1 巻第 8 期／人海灯第 3 巻第 6 期／南瀛仏教第
14 巻第 6 号

無署名記事 編輯後記 (23)

第 3 巻第 8 号、1936 (昭和 11) 年 9 月 1 日発行

無署名記事 明年 10 月印度仏蹟巡拝の計画 (1)

無署名記事 盛会だった国際盂蘭盆の夕 (2)

無署名記事 日米学生会の一行を鶴見総持寺に招待 (3)

千賀生 神秘の国モロッコ (4)

金田恵光 在米同胞と海外布教雑感 (6)

上坂倉次 日本仏家海外渡航年表—明治時代— (11)

A. M. ピザガリ (福地関爾訳) 梵語の発見と第 16 世紀
に於ける伊太利 (17)

無署名記事 ニュース (21)

ブデイス・ロツジ秋のプラン—大乘仏教の研究／西洋
人に仏教がわかるか？／ド・モラン氏を悼む／独逸の休
日 仏教キヤムプ／ブロートン氏のことども／世界宗
教会議に於ける仏教代表の動静／国際仏教大学協会の
活動／ラクノウ宗教会議／セイロン出の比丘 ケムブ
リツヂより学位を授与さる／伊太利出の比丘とハリヂ
ヤン運動／新しい達嗽喇嘛／アフガニスタンの仏像／
中国仏教雑誌『人間覚』創刊／中国寺廟僧尼の統計／四
川南充仏学社成立／中日密教会北平分会成立

無署名記事 協会ニュース (26)

印度仏蹟巡拝の計画／「印度の夕」を開催／9 月中旬総
会を開催／世界仏教大会の開催／歓迎会／ヤング・イー
スト秋季号／海外布教研究会／昭和 11 年度前期分会費
納入者 (8 月 17 日迄敬称略) ／常任理事会／立花氏代
表常任理事に

無署名記事 香港東蓮覺苑 1 週 [年] 記念 (28)

吉水十果 編輯後記 (29)

第 3 巻第 9 号、1936 (昭和 11) 年 10 月 1 日発行

無署名記事 第 7 回ハワイ仏教青年大会 (1)

無署名記事 二十人位の印度仏蹟巡拝団を組織 (2)

シリワルダーナ (金田恵光訳) 大小乗優劣論—鈴木夫人
に問ふ— (3)

ダスグプタ (中尾文雄訳) 仏教哲学序説 (1) (7)

アーサー・C. マーチ (福地関爾訳) 神の観念 (1) (10)

無署名記事 ニュース (14)

仏陀の遺物祀らる／黄金の仏像発見さる／吠舍法学院
開放／ビルマ教団頭首復権！／カルカツタ夏季大
学／ライゲツカー氏の東洋芸術観／焦山仏学苑暑期講
習会／中国学僧会準備会武昌仏学院／李烈鈞等廬山で
仏学講演／中国仏学舎厦門市分会

無署名記事 協会ニュース (16)

10 月 3 日総会開催／田島隆純の歓迎会／昭和 11 年度前
期分会費納入者 (9 月 25 日迄敬称略)

吉水十果 編輯後記 (17)

第 3 巻第 10 号、1936 (昭和 11) 年 11 月 1 日発行

無署名記事 伊太利の大乘仏教研究者トウチ博士来朝
(1)

無署名記事 ニュース (2)

ハーバード大学で仏教美術研究書刊行／カナダの仏教
ブリティツシユ・コロムビア便り／英京に於ける仏教研
究会／鈴木博士ロンドンで講演／日独文化協会新会長
決定／ダツト博士来朝／初転法輪寺 5 周年祭／4 名の独
逸人比丘／法物保存館明版蔵経を保存／北京大学教授
等微妙声月刊社を組織す／暹羅政府上海印經会に暹蔵

を贈る／仏教と洪牙利 ツラン大行進曲の放送
 鈴木大拙 (編輯部訳) 禪に就いて 〈7〉
 田島隆純 シルヴァン・レヴィ先生の没後を語る 〈12〉
 藤井草宣 支那仏教徒の対日態度に就て 〈17〉
 ニヤーナケツトウ (福地関爾訳) 仏教に対する共通の偏見 〈21〉
 無署名記事 協会ニュース 〈27〉
 11年度通常総会 10月13日午後3時半より開催／11年度前期分会費納入者／常任理事会
 吉水十果 編輯後記 〈29〉

第4巻第1号、1937 (昭和12) 年1月1日発行

井上哲次郎 新年の辞 〈1〉
 無署名記事 トウツチ博士歓迎会の盛況 〈2〉
 無署名記事 ダット博士の歓迎会 〈3〉
 無署名記事 メツゲル氏の講演 ハンガリーの武士道精神—ペトフキ・サンドールの事蹟— 〈4〉
 無署名記事 豪華を誇る印度仏蹟学術映写会 〈5〉
 無署名記事 海外ニュース 〈6〉
 太平洋時代欧洲の日本語研究／世界宗教会議毎年開催に決す／欧洲伝道のワヂラナーナ比丘帰錫／英京ブレイストロツヂ創立記念祭／マダム・ダヴィネール 仏教研究新刊／ロレンツオ教授本会に写真寄贈／日伊交換学生仏教の研究に來朝／ハワイ英語伝道の恩人ハント師／サンティニケタンの華印文化協会／仏陀伽耶法案の運命？／アールヤ・ブハヴァン／印度最大の仏教寺院パルブルで発掘／マハー・ボデイ誌のセーン氏引退／2000年以前の仏教寺院／モラバル伝道／総合大学の設立 セイロンで提唱／僧侶に奨学金／セイロンの考古学局 カンデイに移転／コロンボに尼僧学林／セイロンの大塔婆改築
 福地関爾 ナポリの優婆塞ロレンツオ教授 〈12〉
 八尋洲光 世界大同仏教刊教会への探訪記—海城県の巻— 〈15〉
 無署名記事 国際仏教協会本年度事業概要 〈18〉
 吉水十果 編輯後記 〈19〉

第4巻第2号、1937 (昭和12) 年2月10日発行

〔国際仏教協会〕 国際仏教協会設立趣旨 〈表紙裏〉
 無署名記事 洪牙利本協会名誉会員ピエル・ド・モリツ閣下死去 〈1〉
 無署名記事 トウツチ博士愈々帰国 10日大正大学にて講演 〈2〉
 無署名記事 巴里ニュース 〈3〉
 巴里世界博覧会に仏教館を設立／巴里の近況 (松尾邦氏より)
 無署名記事 海外ニュース 〈5〉
 西藏仏教界の大立物 リンポーチェ喇嘛逝去／ビルマ仏教界の恩人 2氏代議士当選／トラヴァンコール州マ

ハー・ラーヂヤーの英断／仏陀伽耶法案のウー・バー・シイ氏逝去／カルカッタ大学に軍教施行／試験日には祈祷を中止せよ 印度大学生のストライキ／バリソールに仏教協会設立／カシヤツパ師帰印／セイロンの印度巡礼団／モラトラ市にミツジョン・スクール／ピーナン仏教協会仏教講座／パンジヤブ仏教界のリーダーパンデイト・ナラヤン氏の逝去／婆羅門から仏門へ／ニューデーリーの歴史的事件／九華山の鉅鐘開鑄／蔣介石氏竜門石仏修補／前外長羅文幹氏の仏教研究／『人海灯』誌仏教文学論特輯／中国仏教徒護国平和会成立／呂碧城女史講演／松尾氏仏訳『芭蕉とその弟子の俳諧』出版

ベルタ・ダルケ (福地関爾訳) 独逸仏教便り 〈10〉
 マク・ケヒニー (福地関爾訳) 無我 〈13〉
 無署名記事 協会ニュース 〈16〉
 ゴルタン・タカチ博士より／南米ペルー国中尾証道師より／莫力廟 太田覚眠師より／感謝録／新加入会員
 吉水十果 編輯後記 〈17〉

第4巻第3号、1937 (昭和12) 年4月1日発行

〔国際仏教協会〕 国際仏教協会事業綱要 〈表紙裏〉
 〔国際仏教協会〕 国際仏教協会世界各国支部所在地 〈1〉
 〔国際仏教協会〕 国際仏教協会各国通信支部 〈2〉
 無署名記事 日本仏教の宣揚にルウイス・ウキリアムス・ブツシユ氏帰英—3月2日送別会開催— 〈6〉
 無署名記事 日洪仏教親善のかずかず 〈7〉
 無署名記事 G. ツチ博士の偉業 西方西藏の寺院とその象徴主義—第3巻第2部出づ— 〈8〉
 無署名記事 ダット博士より 〈9〉
 無署名記事 海外ニュース 〈10〉
 印度鹿野苑に中華寺建立 戴考試院長の援助／長部の印度語訳／聖地に巡礼者の宿舍成る／仏陀の名に於てクリスマス布施／エドモンド・ホームス氏／上海で『漢訳経典』の英訳刊行／新しく国際仏教協会支部交渉開始
 ナーランダ長老 (福地関爾訳) 上座部と大乘 〈13〉
 無署名記事 協会ニュース 〈16〉
 瑞典公使閣下より／各国通信支部増設／印度仏蹟旅行準備／今夏も開催の国際お盆の夕／感謝録／新役員
 吉水十果 編輯後記 〈17〉

第4巻第4号、1937 (昭和12) 年5月1日発行

無署名記事 協会ニュース 〈表紙裏〉
 ツイニン女史／チタゴンのチャードウリ氏より／ハンガリーのイレネ・キス女史より／英文『日本仏教』の編輯／ヤング・イースト夏季号／印度仏蹟巡拝団
 無署名記事 歌劇「悉達多太子」上演 5月於ロンドン新スカラ座 〈1〉
 無署名記事 ブツシユ氏夫妻英京の安着 〈2〉

無署名記事 禅問答の林総理とヘレン・ケラー女史〈3〉
 無署名記事 日華仏教の親善〈4〉
 無署名記事 ホイツトニイ女史より問合せ〈4〉
 無署名記事 英国仏教運動30周年記念講演〈5〉
 無署名記事 海外ニュース〈6〉
 エストニアに仏教の芽生え／独のストラウス老居士
 仏教徒の平和運動を説く／ブデイス・ロツヂ新刊2
 つ／ローザンヌ心霊研究会で仏教講座／ハンガリーの
 協会支部代表にカルマン・ド・モリツ氏就く／中国国際
 図書館で仏教図書雑誌蒐集／中国仏教徒護国和平会／
 廬山大林寺仏殿落成／中国仏教雑誌の連合
 張茂吉 厦門の大蔵経授経式—日本寄贈の大正新修大蔵
 経を永遠の寺宝として名利南普陀寺に納む—〈9〉
 福地関爾 サムガム・ウパガター考〈11〉
 吉水十果 編輯後記〈17〉

第4巻第5号、1937(昭和12)年6月1日発行

〔国際仏教協会〕 国際仏教協会事業綱要〈表紙裏〉
 国際仏教協会々長外一同 英国皇帝陛下戴冠式を祝賀申
 上ぐ〈1〉
 無署名記事 世界教育会議参加の外国人を招待して 第
 2回国際お盆の夕開催〈2〉
 無署名記事 今夏巴里開催の世界仏教大会に本協会代表
 出席—薩摩、松尾、久野、ブツシユの諸氏—〈3〉
 無署名記事 サイゴンの仏教徒ジュバン、ブレゼ両氏来朝
 〈4〉
 無署名記事 いよいよ実行に移る印度仏蹟巡拝団—5月
 26日準備相談会開催—〈5〉
 無署名記事 海外ニュース—中華仏教特輯—〈6〉
 日華仏教親善の辞／太虚法師の国際仏教平和会議提唱
 ／嶺東仏学院閉鎖さる／竹摩法師今秋来朝／中華仏学
 僧消息／芝峯法師／仏教英語の大家 張・呂2女史／ツ
 チ博士ローマより国際放送／ラフラ師近く来朝
 松浦太郎 地球を包む栄光〈9〉
 無署名記事 仏陀伽耶問題〈12〉
 無署名記事 協会ニュース〈12〉
 国際仏教協会事業報告 自昭和9年5月—至12年3月
 ／名誉会員御加入芳名／会員／評議員／理事／ポルト
 ガル、リスボン市長より／姉崎、山田両顧問ジュネーブ
 へ出発／立花代表常任理事駒大学長に就任／本協会顧
 問黒坂勝美博士退院
 無署名記事 国際仏教協会日記〈16〉
 吉水十果 編輯後記〈17〉

第4巻第6号、1937(昭和12)年7月10日発行

無署名記事 協会ニュース〈表紙裏〉
 8月5日午後6時 国際お盆の夕／印度仏蹟巡拝団／
 ヤング・イースト夏号発行／吉田正氏南洋寺院見物／英
 文日本仏教近く完成／リスアニア国本協会代表決る／

安達謙蔵名誉会員として御入会
 無署名記事 海外ニュース〈1〉
 青葉薫る琵琶湖畔に故ウツツ博士の記念碑成る／スエ
 ーデンのハンスン女史 法然上人研究を始む／歌劇
 悉達多太子大盛況／ハンガリとの仏教親善二題／各国
 でヴェーサク祭執行／ブデイス・ロツヂにビルマの仏
 像安置／インドの大衆教化に自国語の雑誌を発刊／バ
 ンガローアに同仁仏陀協会設立／ボンベイに新寺院／
 ベンゴール上院に始めて仏教徒を任命／ブツシユ氏の
 英国便り
 緒方宗博 西洋人に対する禅の意義 (1)〈8〉
 マクシミリアン・ブルノー(福地関爾訳) 余が比丘とな
 れる理由〈13〉
 無署名記事 本年度前期分会費納入者御芳名〈16〉
 吉水十果 編輯後記〈17〉

第4巻第7号、1937(昭和12)年8月1日発行

〔国際仏教協会〕 国際お盆の夕／印度仏蹟巡拝団募集
 〈表紙裏〉
 無署名記事 巴里の第2回国際仏教大会盛会裡に終る〈1〉
 松尾邦之助 巴里に於ける第2回国際仏教大会は何を生
 み出したか?〈2〉
 無署名記事 リスアニア国本協会代表 スタンケビシア
 ス氏に決定〈7〉
 無署名記事 香港東蓮覺苑便り〈8〉
 無署名記事 海外ニュース〈9〉
 英人僧侶ブラヂナンダ長老ビルマで活動／全印懸賞論
 文
 ステイニルベル・オーベルラン(松尾邦之助訳) 日本仏
 教に関しベルグソンに答ふ〈10〉
 緒方宗博 西洋人に対する禅の意義 2〈14〉
 無署名記事 海外各宗開教ニュース〈19〉
 無署名記事 協会ニュース〈20〉
 シューレマン氏より著書『仏陀の福音』を寄贈／宮村隆
 道君出発／吉田正氏パラオ着／松尾氏より井上会長へ
 吉水十果 編輯後記〈21〉

第4巻第8号、1937(昭和12)年10月1日発行

〔国際仏教協会〕 国際仏教協会事業綱要〈表紙裏〉
 久野芳隆 海外の仏教を直視して〈1〉
 無署名記事 海外ニュース〈7〉
 日、英仏教協会の提携促進／仏陀伽耶問題 英本国議会
 に上提されん／初転法輪寺6周年祭／セイロン仏教運
 動の先達ウイラセーカラ氏急逝／レズリー博士剃髪／
 英・米・緬・暹の国際的仏教交歓／仏陀大協会結成／セ
 イロン仏教靈智協会57周年記念を迎ふ／ツチ教授第5
 回西藏探検決行／先亡世界教育功勞者追悼会報告／印
 度仏蹟巡拝団延期さる／駐支英国大使を見舞ふ／リス
 アニア代表スタンケベイツク氏より

無署名記事 協会ニュース〈14〉

立花氏に代つて木村日紀氏代表常任理事に就く／本会計監査藤井栄三郎氏 また金1千円寄附

吉水十果 編輯後記〈15〉

第4巻第9号、1937（昭和12）年12月1日発行

〔国際仏教協会〕 国際仏教協会事業綱要〈表紙裏〉

緒方宗博 故神月徹宗師と外人求道者〈1〉

角田猛 蒙古人と仏教〈3〉

長尾雅人 中辺分別論釈疏の刊行に就いて〈5〉

無署名記事 ルールカン、カイン両氏増上寺、総持寺に案内〈9〉

本多主馬 大乘仏教の世界的進出に就いて〈10〉

木村日紀 国際仏教協会と日本仏教の世界的進出〈11〉

無署名記事 海外ニュース〈13〉

北支の仏教運動／ロシア便り ラーフラ師梵本刊行予定変更／英国便り ロンドン美術館、明年度開催のインド学術会議に代表派遣、ワット氏の新著アジアの遺産と西洋人／アメリカ便り ハンス・アウトター氏より／印度便り 印度学界の権威 K. P. ギヤアスワル博士を悼む、パンデイト・チャンドラ氏 仏教講座を開設、仏陀伽耶問題にビハール州政府乗り出す、印度教の軍官学校設立運動

吉水十果 編輯後記〈17〉

第5巻第1号、1938（昭和13）年2月1日発行

〔国際仏教協会〕 国際仏教協会事業綱要〈表紙裏〉

八尋洲光 時局と国際仏教のことども〈1〉

W. E. バーナード（中島関爾訳）自力と他力〈3〉

G. S. ペレラ（江原亮瑞訳）セイロン国史（1）〈7〉

松浦太郎 新刊紹介〈11〉

Systems of Meditation in Religion, by W. Loftus Hare / *The Bhagavad Gita: A Conflation from All Available English Translations*, by Albert E. S. Smythe / *Buddhism in England* (Vol.12, No.4) / *Maha-Bodhi*, (Vol.45, No.10)

無署名記事 海外ニュース〈12〉

ナチ科学の勝利 フリクナー博士による中央アジアの地質学的研究／ブデイス・ロツヂ創立記念講演会／ロンドン大学名物 黄衣緑傘の大学生／メナンドル王時代奉安の仏陀の遺骨発見さる／ヴェーサク祭に肉食を廃止／セイロン人種の血液研究 ヒル教授の発表

無署名記事 協会ニュース〈16〉

時局懇談会／ナンド・カヴァイ氏帰国／本会理事宇津木二秀氏渡布／昭和12年度後期分会費納入者御芳名／パネー号弔慰大使訪問と募金／洪国文化使節メイゼ博士立正大学で講演 本会名誉会員となる／旧臘15日国際仏教協会12年度総会開催

吉水十果 編輯後記〈19〉

第5巻第2号、1938（昭和13）年6月1日発行

〔国際仏教協会〕 国際仏教協会事業綱要〈表紙裏〉

古川慈良 自然の錫蘭・ナチスの独逸 13年の旅より帰りにて〈1〉

無署名記事 5百年の歴史を誇る大菩提寺の復旧成る〈10〉

無署名記事 「小品」古写本の公開〈10〉

無署名記事 故プサン翁の面影と追悼会〈11〉

高楠順次郎、宇井伯寿、ド・バツソムピエール、宮本正尊、久野芳隆 白耳義ガン大学教授故レイ・ド・ラ・ワレー・プサン翁追悼会〈12〉

レイ・ド・ラ・ワレー・プサン氏略歴〈19〉

無署名記事 海外ニュース〈22〉

歌劇「プリンス・シッダハルタ」巴里に上演／ラーマクリシュナの殿堂に仏陀等を奉安／ウェーサク祭近づく／大菩提会のビルマ伝道／モラーバールの著名な社会事業家ラーマ・キエール氏剃髮／禪に結ばれた英・米の若人に幸あれ！／桑港白人仏教徒の動物愛護運動／印度教学者の仏教観／満洲国宗教現勢（1937年8月1日）／日本仏教に関する二英文著書／フィンランドの親日家ギユルクセン夫人／各宗支那開教事業調査

無署名記事 協会ニュース〈25〉

世界仏教学大会開催か？ 万国博への回答のこと／英文仏書購読会／米国大使館よりの問合せ／和蘭の仏教研究家2人／独逸のワレザー教授健在／海外のヤング・イースト購読熱／ラーストラパーラ・サンデイリヤーヤナ氏の日本仏教研究／アジア学生連盟「仏陀の夕」本会員講演／カトリック牧師の日本仏教研究／ブツシコ氏山形高校へ赴任／新任外務省文化事業部長蜂谷輝雄氏に挨拶／第三課長市河彦太郎氏事務官箕輪三郎氏来訪／仏連の幹旋に依り各宗より補助／宇津木二秀氏帰朝談／竜山章真氏渡欧送別会／イタリア使節団より謝状を受く／波蘭大使館員ステンシニアツク夫妻を総持寺に案内／藤井栄三郎、野間清治郎両氏の篤志／故今村恵猛の7回忌布哇で挙行 布哇で高楠博士記念講演／ヤングイースト誌の功労者佐野甚之助逝く

吉水十果 編輯後記〈31〉

第6巻第1号、1939（昭和14）年9月1日発行

〔国際仏教協会〕 国際仏教協会事業綱要〈表紙裏〉

口絵 印度教寺院（クムバコナム大塔）(i)

口絵 カルカツタの日本山妙法寺／ニューデリーの仏教寺院 (ii)

無署名記事 海外ニュース〈1〉

厦門に大乘仏教青年会設立さる／厦門に仏教雑誌『大乘』創刊／上海より英・華文『中国仏教』創刊／伯林仏教の家「小品集」／ツチ教授の西藏探検／ライ・サハニイ氏逝去／舍利仏と目犍蓮の遺骨／巴利仏典の仏訳／

ラオス、カンボディア両国王 ナーランダ大長老を招聘
／タイ(暹羅)の新国師／故ダルマパーラ翁の除幕式／
仏教々育基金百万留比募集／カイル博士 日本の現実
を印度に紹介／浄道論のヒンディ訳／印度教の特志家
によつてクシナラに仏教宿舍／セイロン YMBA のス
リ・ニツサンカ氏より／ニューヨークより『哲学雑誌』
創刊／ラストラパーラ氏の論文 ヒンディ・ミラップ紙
に掲載
ナンシキ・グレゴリキ(中島莞爾訳) 仏領印度支那仏蹟
旅行記(9)
無署名記事 『口伊仏教研究』発行(18)
無署名記事 『英文仏教百科辞典』の出版(18)
国際仏教協会印度事情研究会編 印度教特輯一研究資料
一(19)
高楠順次郎 仏教の根本原理(35)
無署名記事 協会事業日誌(42)
無署名記事 会員の訃報(42)

第6巻第2号「特輯 仏教と自然科学」、1939(昭和14)年11月15日発行

〔国際仏教協会〕 国際仏教協会事業綱要(表紙裏)
果〔吉水十果〕 巻頭言(i)
高楠順次郎 仏教と理学のこと(1)
無署名記事 仏教と科学に就き発表されたもの(4)
市河彦太郎 仏教と科学片々(5)
吉水十果 仏教と理論物理学(12)
スワミ・ヂュニャナカンダ(中島莞爾訳) 数学と仏教其
他の哲学(16)
無署名記事 高楠順次郎博士の帰朝歓迎講演会／仏教と
科学の研究会(23)
G. H. ペアリエン(中島莞爾訳) 相対性と新科学(24)
ロルフ・ヘンクル(中島莞爾訳) 仏教思想と近代科学の
諸概念との間に於ける若干の類似(31)
無署名記事 海外ニュース(46)
ロンドン仏教寺院の建立運動／フランスに於る喇嘛僧
の筆になる小説／サラネエヴ女史の仏教運動／国際仏
教婦人会設立／ブダガヤ問題／初転法輪寺8周年祭／
大乘月刊第2号／印度の日本仏教研究熱
無署名記事 協会ニュース(49)
オツタマ比丘とゴダード翁の追悼会／オツタマ比丘の
こと／ゴダード翁のこと／ベツオールド教授の英文日本
仏教史／鎌倉円覚寺に開く外人仏教講座／仏教美術紹
介先づ「五重塔」から

第7巻第1号「特輯 ビルマの仏教」、1940(昭和15)年11月21日発行

〔国際仏教協会〕 国際仏教協会事業綱要(表紙裏)
口絵 シュウタ・ダゴン・パゴオダ／托鉢中のビルマ僧／
民衆の朝の祈り(i)

口絵 シュウタ・ダゴン・パゴオダ内部の仏像／ペグの臥
仏(ii)
無署名記事 巻頭言(iii)
W. H. ハズピス(K・N〔中島莞爾〕訳) 仏教国ビルマ
督見記(1)
M. T. ニヨー ビルマの仏教(9)
デエワ ブリヤ・ワ リシンハ(K・N〔中島莞爾〕訳)
ラングーン訪問記(12)
福島弘、久我成美、後藤亮一、山田秀蔵、大崎嘉一、木村
日紀、吉水十果、中島関爾 座談会「ビルマの仏教につ
いて」(17)
中島莞爾 ビルマ仏教の概観(23)
無署名記事 日本ビルマ仏教人片々(35)
無署名記事 ビルマ仏教青年会の歴史(35)
W. E. バアナアド(K・N〔中島莞爾〕訳) ニウ・ヂイ
ランドの仏教(38)
無署名記事 英文「仏教倫理」セイロンに好評(40)
無署名記事 ニューズ(41)
仏教による日華提携 協会の広東支部長に鉄禅法師／
上海の禅研究家ヘルツ氏再度来朝／コロムボ仏教靈智
協会60年祭に祝電／台北帝大デル・レー教授の新著
仏・基両宗教に現れた極楽の研究／錫蘭ラバンバリサヤ
仏塔再興記念祭／ベルリンの仏教研究家カルル・フリ
ズ博士来朝／在留独逸人キンダーマン博士の日本仏教
研究

第7巻第2号「特輯 タイ国の仏教」、1941(昭和16)年2月15日発行

〔国際仏教協会〕 国際仏教協会事業綱要(表紙裏)
口絵 王宮内のワット・プラケオ／純タイ式寺院ベンチャ
カマボピット(i)
口絵 ワット・ポー内の諸仏像／托鉢中の僧／アユチアの
露座の大仏(ii)
無署名記事 巻頭言(iii)
W. E. フイッシャー(中島莞爾訳) 旅行記 新興タイの
横顔(1)
無署名記事 タイ国の高僧(10)
ピア・バンチョン タイ国の仏教(11)
無署名記事 タイ国仏教青年会(12)
扶南堂三友〔佐藤致孝〕 タイ国仏教行事(13)
ブラ・サラサス、磯部美知、山口武、矢田部保吉、御簾納
正三、木村日紀、吉水十果、中島関爾 座談会「タイ国
の仏教」(28)
無署名記事 小林師の帰朝談(33)
田中藤華 タイ国仏塔の片鱗(34)
中島莞爾 タイ国仏教の概観(37)
平等通昭 日泰文化研究所長平等通昭氏よりの来信(45)
無署名記事 日・泰仏教関係(47)
無署名記事 タイの仏教文献(47)

カール・キンデルマン (市河三栄訳) 古代哲学者の研究
(48)

無署名記事 ニュウズ (52)

タイ国親善使節団のインド訪問／ヒンドウ・マハアサツ
バ 印度支那の民族独立を支持／ヒンデイ語の巴利文
法出づ／ビルラ奨学資金／サルナートの発掘／セイロ
ン政界の重鎮 初転法輪寺に参詣／ソオラタ大長老
カルカツタに留学／戴天仇氏の訪印／訪泰中の小林義
道師／国際仏教協会華南支部発会／国民政府宣伝部に
図書寄贈／泰語『日本精神と仏教』出版／日蓮教学『開
目抄』*The Awakening to the Truth*の英訳出版／ウルガイ
国に本会支部設置／伯林日本研究所に仏教図書館寄贈
／市河公使送別会

第7巻第3号「特輯 仏印の仏教」、1941(昭和16)年8 月5日発行

〔国際仏教協会〕 国際仏教協会事業綱要〈表紙裏〉

無署名記事 巻頭言 (i)

口絵 アンコールトム城内バヨン寺塔上の梵天 (iii)

口絵 安南王宮前庭の高鼎／アンコールワット入口の彫
刻／アンコールトム南門 (iv)

ナアラダ長老 (中島莞爾訳) カムボディア訪問記 (1)

扶南堂三友〔佐藤致孝〕 仏印アンコール大遺跡を訪ふ
(12)

大岩誠、古野清人、金永鍵、立花俊道、長井真琴、木村日
紀 仏印の仏教座談会 (25)

無署名記事 日・仏印交換教授ゴルーベフ博士歓迎会 (28)

金永鍵 安南に於ける仏教の伝来 (29)

無署名記事 仏印に於ける仏教団体 (44)

中島莞爾 仏印仏教の概観 (45)

無署名記事 ニュウズ (58)

大菩提会創立50周年記念祭／印度の仏蹟を参拝する仏
教徒／ベナレスの印度教大学にパール語科増設さる／
N. N. ゴース氏教授に任命／バンガロールに新仏教精
舎建立さる／ワイダ女史の講演／サルナートの得度式
／ルヴァンウリの古尖塔 河底より発見／ダムマシツ
デイ大長老遷化／印度仏教攻撃論づ カルカツタのパ
トリカ紙より／大菩提会50周年記念ニュウズ／古代仏
教精舎ビハールで発見

無署名記事 南方仏陀祭の盛況 7月5日午後1時日比谷
公会堂に於て (63)

第7巻第4号「特輯 蘭印の仏教」、1941(昭和16)年 10月1日発行

〔国際仏教協会〕 国際仏教協会事業綱要〈表紙裏〉

無署名記事 巻頭言 (i)

口絵 ボロブドオルの全景 (iii)

M. マクミラン ボロブドオル訪問記 (1)

宇野円空 スマトラ、爪哇に於ける仏教の跡 (13)

宇野円空、岡本嵩、立花俊道、山本快竜、木村日紀 蘭印
の宗教座談会 (25)

木村日紀 爪哇、スマトラのシャイレンドラ王朝と其の仏
教—那爛陀発掘の銅版刻文を通じて— (30)

ファン・ディンスト (中島莞爾訳) 蘭印の仏教を語る (37)

中島莞爾 インドネシアに於ける印度の宗教・文化 (41)

無署名記事 印欧人問題 (55)

無署名記事 ニュウズ (56)

錫蘭中央仏青討論会／中央仏青7—8月講演会／バンニ
ピテイヤ仏青1周年記念祭／仏青、ポロンナルワ巡礼／
泰国仏教徒世界平和を提唱／国際仏教協会巴利文化学
院夏季講習会 南方仏教事情

第7巻第5号「華僑の信仰号」、1941(昭和16)年12月 20日発行

口絵 仏陀と指鬘 (表紙裏)

口絵 安南の僧侶 (i)

口絵 音楽僧 (ラオス)／タイの尼僧／写経中の僧侶 (セ
イロン) (ii)

スワミ・サティヤナンダ (中島莞爾訳) 泰国に於ける印
度文化の伝来 (1)

無署名記事 世界各地別華僑人口 (7)

釈法道 (中島莞爾訳) 15世紀に於けるビルマ教団の改
革者ダムア・ゼディ王 (8)

無署名記事 南洋華僑出身地別人口分布 (14)

桜井徳太郎、永田安吉、滝照道、古野清人、宮原義登、高
桑昇三、福島弘、山田秀蔵、井出諦一郎、木村日紀、長
井真琴、山本快竜、吉水十果、中島莞爾 座談会南洋華
僑とその信仰 (15)

無署名記事 海峡植民地に於ける華僑の出産死亡率 (22)

金永鍵 近世に於ける安南の仏教とその発展 (23)

無署名記事 南洋華僑の分類 (44)

中島莞爾訳 泰国の平和提唱—泰国政府よりピヤ・シー・
セナ駐日泰国特命全權大使を通じ国際仏教協会々長井
上哲次郎博士宛通達— (45)

無署名記事 ニウズ (52)

錫蘭に於ける仏教徒子弟の教育問題／アハンガマ仏教
英語学校の盛事／リデイ精舎／マハーラーガマ仏青支
部の近況／ラヴィニア仏青支部の近況／英文サツダム
マサンガハの出版

無署名記事 協会ニウズ (55)

ハノイで仏教美術写真展／泰国に対する仏教事業 上
村真肇氏の報告／昭和16年度総会／本会巴利文化学院
／本会華南支部

第8巻第1号「特輯 西藏の仏教」、1942(昭和17)年2 月25日発行

〔国際仏教協会〕 国際仏教協会事業近況〈表紙裏〉

無署名記事 巻頭言 (i)

口絵 ロツソ寺の仏逝像／ビアンコ寺の観音像 〈iii〉
 口絵 ナコ寺院／蒙古のラマ寺／ツパラングの廃寺 〈iv〉
 多田等観 ボン教とラマ教との関係 〈1〉
 橋本光宝 蒙古と西藏との不可分関係 〈5〉
 チョムペル (中島莞爾訳) 不運の達頼喇嘛 〈13〉
 河口慧海、青木文教、橋本光宝、笠松単伝、壬生台舜、木村日紀、立花俊道、山本快竜、吉水十果、中島莞爾、松田玄一 西藏の仏教座談会 〈20〉
 無署名記事 泰国首相と記者団との仏教問答 〈29〉
 ラーフラ・サーンクリトヤーヤナ (中島莞爾訳) 西藏旅行記—梵本仏典写本の発見— 〈30〉
 ピープン・ソナムクラム ピープン泰国首相の日泰仏教提携に関する書翰 〈59〉
 無署名記事 ニウズ 〈59〉
 カンボヂヤの仏教研究情況／ヨーロッパの仏教運動／シンガポールの仏教団体／仏教と泰国学生／バンツコク滞在の上田教授の近況／南方仏教学会創立／巴利文化学院

第8巻第2号「特輯 セイロンの仏教」、1942 (昭和17)年8月15日発行

口絵 サンガーミッター尼と菩提樹の来島 〈表紙裏〉
 無署名記事 巻頭言 〈i〉
 口絵 ボロンナルワにおける涅槃像 〈iii〉
 アーナンダ・クマラスワミ (中島莞爾訳) セイロンにおける菜食主義 〈1〉
 釈仁度、立花俊道 釈仁度、立花俊道両師にセイロン仏教を聴くの会 〈10〉
 シュリ・ニッサンカ 仏教教育について—セイロン仏教徒よりの要請— 〈17〉
 W. A. ド・シルヴァ (東元多郎訳) ビルマとの宗教的結合—セイロンへの使節の話— 〈19〉
 茂垣長作、巻口和民、沼野英一、木村日紀、立花俊道、山名義鶴、宮本正尊、山本快竜、吉水十果、中島莞爾、東元多郎、松田玄一、久保田悟城 セイロン事情座談会 〈28〉
 ラージャ・ヘーワビタルネ セイロン仏教青年会現状 〈34〉
 中島莞爾 セイロンの仏教について 〈35〉
 無署名記事 セイロン語太陰暦月名 〈39〉
 無署名記事 ニュース 〈40〉
 日タイの心の結びに大仏塔建立／南方だより／熱血インド青年の断食／バモ博士とテイン・モン博士のこと／ハンガリー人テッチ氏の熱望／『中国仏教』誌より委頼状／タイ国大使館の夏安居入祭
 無署名記事 ニュース (協会関係) 〈42〉
 南方仏教聖典第1輯発行／ペツオールド氏表彰祝賀会／第2回南方仏陀祭举行／仏印における仏教美術展の盛況／派遣僧初の犠牲／我が国最初のビルマ語日本美術の刊行／上田天瑞氏の近況／仏印より安南語辞典贈呈

／安南仏教目録書刊行

第8巻第3号、1942 (昭和17)年11月15日発行

無署名記事 巻頭言 〈ii〉
 D. A. スティード (中島莞爾訳) 印度の自然的特色の重要性 〈1〉
 東元多郎訳 全訳チャックパーラ長老物語 〈18〉
 金永鍵 占城のシヴァ教 〈34〉
 東元多郎 セイロン留学僧の先駆者グナラタナ積興然師をめぐる人々 〈38〉
 国際仏教協会編 大東亜に於ける宗教別信徒数概算 〈46〉
 東元多郎 劇評「河は流れてゐる」を見て 〈49〉
 無署名記事 ニウズ 〈53〉
 中華民国宣伝部へ図書贈呈／本会関係報道班員帰る／ビルマ興国仏教連盟生る／大東亜仏教青年大会開かる／第2回南方仏陀祭の海外よりの反響／仏教同願会日本で年会を開く／セイロン語文法書出版／高橋、池田、川崎3氏の歓送迎会

第8巻第4号、1942 (昭和17)年12月20日発行

口絵 みほとけの舍利をささげて 〈表紙裏〉
 セイロン語三帰依文 〈i〉
 口絵 雨期あけのビルマ 〈iii〉
 口絵 パゴダ詣で 〈iv〉
 中島莞爾 近代印度の宗教運動 〈1〉
 武田豊四郎 緬甸国と仏教 〈12〉
 東元多郎訳 全訳マッタクンダリ物語 〈18〉
 金永鍵 柬埔寨の寺子屋 〈26〉
 ウィル・デュラント 現代インドのカースト制度 〈30〉
 松田玄一 ヒンヅーマハサバ論—シュッディ運動を中心にして— 〈39〉
 無署名記事 ニウズ 〈51〉
 安居あけ祭 (火祭) と入寺式／仏印東京仏教総会より図書の寄贈／タイ国の水害を見舞ふ／本年度総会開く／大東亜省と懇談会／本協会庶務部員久保田氏南方へ行く／会長井上哲次郎米寿の祝

第9巻第1号、1943 (昭和18)年2月27日発行

無署名記事 巻頭言 〈i〉
 口絵 ビルマの布薩会 〈iii〉
 口絵 ビルマの長老と山形英応氏 〈iv〉
 山形英応 ビルマ仏教分派の歴史と現勢 〈1〉
 岡本貫瑩 印度支那に於けるクメール芸術 〈35〉
 無署名記事 ニウズ 〈53〉
 林柏生氏よりの謝状／本協会よりビルマ全仏教徒にメツセージを送る／泰国司法大臣タムロン閣下より謝状／釈尊正風会より泰仏像を寄贈／泰仏像奉安式／泰国へ日泰同盟締結記念メツセージ打電／デイレーク泰国大使に観音像を贈る／本会所属大東亜仏教研究所創立

／ウジツト泰国外相より謝電／デイレーク泰国大使より謝状／ワンワイ殿下より水害見舞の感謝状／柳沢健氏中心懇談会／当協会理事会を開く〈53〉

東元多郎 編輯後記〈58〉

石田義則 南方宗教関係欧文文献目録（東洋文庫の部）〈80〉

第9巻第2号、1943（昭和18）年4月15日発行

マハーワンサより〈i〉

口絵 バンツコク市ワットプラケオ（王室仏寺）に於ける
口泰攻守同盟1周年記念式典〈iii〉

口絵 日泰文化批准交換〈iv〉

ウィル・ドュラント（中島莞爾訳）ガンディ論〈1〉

金永鍵 最近に於けるアンコールの問題〈26〉

石田義則 印度支那諸民族の宗教〈39〉

無署名記事 ビブン首相夫人の仏教観〈54〉

無署名記事 内外だより〈55〉

ウ・トウイン氏へ書状／第3回南方仏陀祭日時決定／聖雄ガンジー翁延命祈願祭／セデス博士名誉会員となる／越南仏典略編好評／越南大蔵経の企画／小牧近江氏に本会ハノイ代表員を委嘱／シウエダゴンより謝電

東元多郎 編輯後記〈56〉

第9巻第3号、1943（昭和18）年6月25日発行

法句経〈i〉

口絵 カンボジアの水祭〈iii〉

中島莞爾 タイの仏教〈1〉

東元多郎 夜空の瑛珞〈10〉

石田義則 印度支那諸民族の宗教 2〈11〉

無署名記事 仏暦2482年（昭和14年）度タイ国寺院、比丘、沙弥数統計〈41〉

無署名記事 内外たより〈44〉

ピブーン首相より謝状／タムロン司法大臣より謝状／ワナラート大長老邊化に弔電／日タイ文化会館々々柳沢健氏歓迎会／タムロン法相本会名誉会員となる／釈仁度師・伊藤次郎左衛門氏維持会員となる／ミス・タイの出家

東元多郎 編輯後記〈46〉

第9巻第4号「安南特輯号」、1943（昭和18）年8月20日発行

口絵 仏陀祭につどふタイの老若男女〈表紙裏〉

東元多郎 巻頭言〈i〉

口絵 ビルマのニヤンエ祭〈iii〉

口絵 第3回南方仏陀祭式典／同、南方人の右繞礼〈v〉

口絵 ワナラート大長老追悼式〈vi〉

村松嘉津 安南年中行事〈1〉

阮文寛（金永鍵訳）安南の民間信仰 魂魄の救ひ〈12〉

無署名記事 内外だより〈30〉

第3回南方仏陀祭／ハノイ文化会館々々長歓迎会／タイ仏七箇所巡拝／立花俊道師の仏印行／日タイ文化会館に仏教館並に五重塔建立企画／鉄禅師歓迎会

第9巻第5号、1943（昭和18）年10月31日発行

鉄禅、井上巽軒〔哲次郎〕〔漢詩〕〈表紙裏〉

口絵 ウオツタマ比丘〈i〉

口絵 滞日中のある日のウオツタマ比丘〈ii〉

山形英応 ウオツタマ伝〈1〉

天津慈雲 スマトラ仏教の研究書〈23〉

無署名記事 内外だより〈26〉

高松宮殿下に著書献上／欧文『日本仏教研究』第5巻／ウイジツト泰国前外相本会名誉会員となる／泰国仏教事情講演会／印度独立支援仏教徒懇談会／ビルマの久保田、真鍋両氏

第9巻第6号、1943（昭和18）年12月31日発行

口絵 ウオツタマ比丘の遺墨／泰国仏教協会名誉会員章（井上会長へ贈られしもの）〈表紙裏〉

吉水十果 創立満10年を迎えて〈i〉

口絵 慈顔の前に学ぶ子たち—ビルマにて—〈iii〉

口絵 国際仏教協会創立満10周年記念会〈iv〉

石川海浄 南方仏教聖典語としての巴利語〈1〉

無署名記事 緬甸だより〈14〉

決戦体制に協力するビルマ僧侶／ビルマの火祭り

B. A. サレトール（松田玄一訳）現代印度史上に於ける仏教存否の問題〈15〉

阮文寛（金永鍵訳）魂魄考〈12〉

無署名記事 ベンガール州の一部に於ける結婚年齢出生及死亡率〈27〉

無署名記事 内外だより〈28〉

『中国仏教季刊』上海で創刊／ニヤーナティローカ師健在／普慧大蔵経刊行会成立／上海仏教浄業教養院のことども／公開講演会／ビルマー国大使テー・モン博士本会名誉会員となる／理事会開催／国際仏教協会創立満10周年記念会／井上会長泰国仏教協会名誉会員に推挙さる／第1回国際事情懇談会開催

第10巻第1号「タイ国仏教特輯」、1944（昭和19）年2月29日発行

〔国際仏教協会〕大東亜に於ける国際仏教協会の連絡機関〈表紙裏〉

吉水十果 巻頭言〈i〉

口絵 仏寺詣で—タイ国にて—〈iii〉

口絵 南伝大蔵経を泰国仏教協会へ贈呈／泰国大使歓迎会（国際仏教協会主催）〈iv〉

平等通昭 泰国仏教の現況〈1〉

サティラ・バンダランシ（中島莞爾訳）祖国タイの仏教について〈22〉

江尻英太郎 タイの仏教習慣〈28〉

無署名記事 共栄圏だより〈34〉

中華民国 開封に成尋の記念碑建つ、仏教同願会とその動勢、円瑛師の北上、中国国教会成立、厦門大乘仏教会とその近況／タイ国 パンコックの寺院爆撃さる／蒙疆 活仏来る／フィリピン ラウレル大統領より感謝状／ビルマ国 真鍋静心君の活躍

無署名記事 本会報告〈37〉

第2回国際事情懇談会開催／大東亜仏教研究所研究員安永弁哲氏応召／大東亜戦争完遂祈願法要／大東亜仏教研究所第1回研究発表会／新任ビルマ国テイ・モン大使歓迎会／新任タイ国ウイヂット大使歓迎会／タイ国仏教協会 タムロン会長に南伝大蔵経を贈呈／タイ国ウイヂット大使より年賀状拝受／タイ国留学生サツテイラ氏来訪／ドイツ人仏教研究家クナツク博士と共に青松寺、増上寺を参詣／大東亜仏教研究所第2次入所式／安南留学生のお正月／大東亜仏教研究所第2回研究発表会／日タイ文化会館／巴利経典誦読涅槃会／大東亜仏教研究所公開講演会

第10巻第2号「カムボジア特輯号」、1944(昭和19)年4月30日発行

諸天勸請文(セイロン日常経典より)〈i〉

口絵 クメール彫像〈ii〉

杉本直治郎 近世初頭における日本人のアンコール・ワット詣で〈1〉

岡本貫瑩 古代クメール彫像に及ぼせる印度芸術の影響〈19〉

石川海浄 仏典に現はれたる布教々材に就いて〈33〉

吉水十果 時局と仏徒の使命〈36〉

無署名記事 わが建設譜〈37〉

第4回南方仏陀祭／第3回国際事情懇談会／ハンス・ヴォルフアルト氏来訪／グナラタナ釈興然師第21周忌法要／第4回大東亜仏教研究所公開講座／第1回大東亜仏教圏委員会／理事会／第3回大東亜仏教研究所研究発表会／大東亜仏教研究所新入研究員

吉水十果 編輯後記〈40〉

無署名記事 来れ！ 聴け！ 大東亜建設戦に協力せよ！〈41〉

第10巻第3号「釈興然追悼号」、1944(昭和19)年6月30日発行

口絵 興然和上の像／興然和上のお墓〈表紙裏〉

東元多郎訳 三宝祈願文〈1〉

釈仁度 興然大和上をしのびて〈2〉

東元多郎 グナラタナ釈興然和上传〈3〉

滝田空華 興然和上の思ひ出〈14〉

吉水十果 大東亜仏教政策論〈15〉

金永鍵 安南仏教遺蹟〈25〉

無署名記事 安南の観音信仰〈42〉

無署名記事 釈興然略年譜〈43〉

無署名記事 興然和上21回忌法要〈44〉

無署名記事 釈興然特輯号発行に就いて〈44〉

無署名記事 わが建設譜〈45〉

第2回大東亜仏教圏委員会／第5回及び6回大東亜仏教研究所公開講座／国際仏教協会疎開／松田、関戸両氏応召／第4回国際事情懇談会／第4回南方仏陀祭／立花俊道先生御帰朝／第4回大東亜仏教研究所研究発表／国際仏教協会講演会／大東亜仏教研究所講座／大東亜仏教研究所研究発表会／大東亜仏教研究所研究題目(追加)

口絵 興然和上のむかへられたる南方のみほとけ／興然和上21忌法要参列者〈47〉

第10巻第4号「ビルマ特集号」、1944(昭和19)年10月31日発行

木村日紀 巻頭之辞〈1〉

上田天瑞 ビルマ仏教の特色—大東亜仏教研究所講演概要—〈1〉

川崎尊雄 ビルマ戦線直後の対策〈14〉

中島莞爾 緬甸の大乘について〈21〉

東元多郎訳 全訳ウデーナ王物語 1〈25〉

無署名記事 わが建設譜〈31〉

ビルマに於ける真鍋静心氏の活動／安南語に訳された『ザ・ヤング・イースト』の論文／南方仏陀祭／越南東京仏教会長の書信／第3回大東亜仏教圏委員会／安南仏教懇談会／友松円諦先生支那視察／松田玄一氏の便り／サツテイラ氏の巡礼／川崎尊雄氏研究員となる／大東亜仏教研究所インド語講座／第7回大東亜仏教研究所公開講座／泰国大使誕辰に持戒僧釈仁度師供養

口絵 日比谷公会堂に於ける第4回南方仏陀祭の盛況〈裏表紙〉